

平成 26 年版

# 消防年報



新消防庁舎のイメージ図

平成 27 年刊行

鹿角広域行政組合消防本部

## 新消防庁舎が完成し、本年8月から運用開始します。

現消防庁舎の耐震性の問題及び施設設備の老朽化をうけ、鹿角警察署の西側に建設されていた新消防庁舎が完成しました。消防救急無線のデジタル化と併せて、本年8月から運用開始となります。

官公庁区域への移転により、鹿角市役所、鹿角警察署、かづの厚生病院等との連携強化が期待される他、大規模災害時には、避難所や応援車両等の集約ポイント、ヘリポート等、防災エリアとして複合的な機能を果たします。

移転後の、現消防庁舎敷地内には、消防署南出張所を新設し、高規格救急車1台を配備します。

## はしがき

1. この年報は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化のための資料とし、併せて火災の実態や消防、救急活動の現状等を広く一般に紹介して消防行政に対する理解を深めるとともに、住民の防火意識の高揚を図るため作成した。
2. 本書の内容中、予算関係及び人事関係については会計年度とし、その他のものは原則として暦年としたが、年月日を明示したものは、その時点での現況である。

平成27年4月

鹿角広域行政組合消防本部

# 目 次

鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢	1
管内の面積・人口・世帯数	2
鹿角広域行政組合圏域図	3
消防の沿革	4 ~ 8
受章記録	9

## 【総 務】

歴代管理者・副管理者・消防長・署長一覧表	10
消防職員配置状況	10
鹿角広域行政組合消防本部組織図	11
消防本部事務分掌	12
消防署事務分掌	13
消防庁舎の概要	14
消防職員勤務年数表	15
消防職員階級別年齢表	15
消防吏員年齢別階級分布図	15
消防費分類表	16
消防職員免許所持状況	17
消防職員学校教育派遣状況	18

## 【施 設】

消防車両等一覧表	19 ~ 22
消防車両の使用経過年数状況	22
消防水利状況	23
水防倉庫所在地一覧／水防倉庫資材状況	24

## 【予 防】

防火対象物及び立入検査状況	25
危険物製造所等の立入検査状況	26
消防法令等による許可申請等の状況	26
建築同意状況	27
防火対象物定期点検報告制度状況	28
甲種防火管理者再講習受講状況	28
住宅用火災警報器設置調査状況	28
過去5年間の火災原因	29
月別火災状況	30
幼少年婦人防火クラブ加入団体／活動状況	31

## 【救急】

救急出動状況／救急小隊別出動内訳	32
バイスタンダーによる応急手当・救命処置数	32
月別救急活動状況調	33
月別事故種別救急出動状況調／事故種別救急出動件数の推移	34
年別・曜日別出動状況／事故種別・時間別・傷病者搬送状況	35
事故種別・年齢別・傷病者搬送状況／急病にかかる疾病別搬送人員調	36
事故種別・地域別出動状況	37
救急蘇生指標／特定行為実施件数	38
救急救命士による救命処置領域件数／ドクターヘリ要請事案件数調	39
各種実習・研修等／救急に関する各種教育プログラムの職員受講状況	39

## 【警防・救助】

安全管理及び指揮体制	40
警防活動状況	41
各種訓練状況	42
救助体制	43
救助器具保有状況	43～44
救助隊の訓練状況	44
緊急消防援助隊出動履歴	45
緊急消防援助隊秋田県隊登録車両	45
緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練出動開催地	45

## 【通信】

気象状況・極値	46
過去10年間の気象の推移／気象観測開始からの気象極値	47
119番・専用回線着信状況／災害情報配信システム(メール配信) 登録状況	48
消防緊急通信指令施設等の機器構成	49
無線機保有一覧	50

## 【消防団】

消防団装備・階級別実員	51
鹿角市消防団組織図	52
鹿角市消防団管轄区域	53
鹿角市消防団員階級別報酬及び諸手当	53
小坂町消防団組織図	54
小坂町消防団管轄区域	54
小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当	54
消防本部と消防団との安全管理体制	55
秋田県消防操法(訓練)大会成績	56

## 【災害記録】

災害記録	57～63
------	-------

## 【広報消防鹿角】

平成26年秋冬号

## 鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢

この圏域は、東北三県（青森・秋田・岩手）のほぼ中央、秋田県の北東部、奥羽山脈を形成する鹿角盆地に位置し、南は八幡平、北は十和田湖の国立公園を控え、これに連なる緑の山々と清れつな河川に恵まれ、その自然の豊かさは「青垣山をめぐらす鹿角」の言葉で象徴されています。

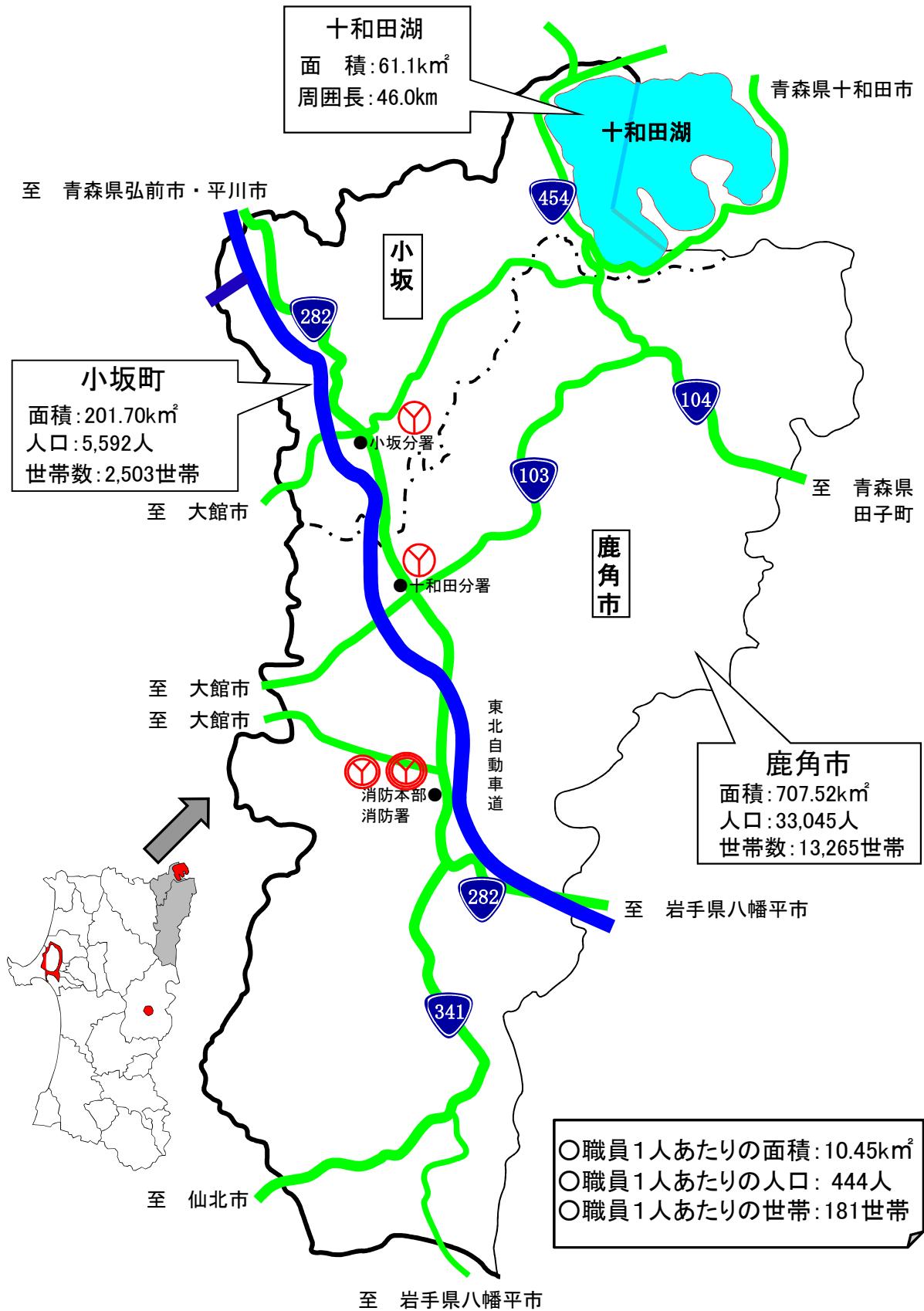
総面積は909.22km<sup>2</sup>で、秋田県の総面積(11,637.54km<sup>2</sup>)の約7.8%にあたる広さをもっています。そして、鹿角盆地の中央部を貫流する米代川を本流として、小坂川、大湯川、熊沢川などの河川が流れ河岸や台地に花輪、毛馬内などの市街地が開け、田園や畠地には大小の集落が点在しており、その周りは広大な山地で平坦地の少ない地勢となっています。

気候は盆地型に属し、年間を通じて昼夜間の気温の差が大きく、平均気温は10°C前後、降水量は年間約1,500mm程度であり、積雪は平坦地で約80cm、積雪期間は12月から3月までです。

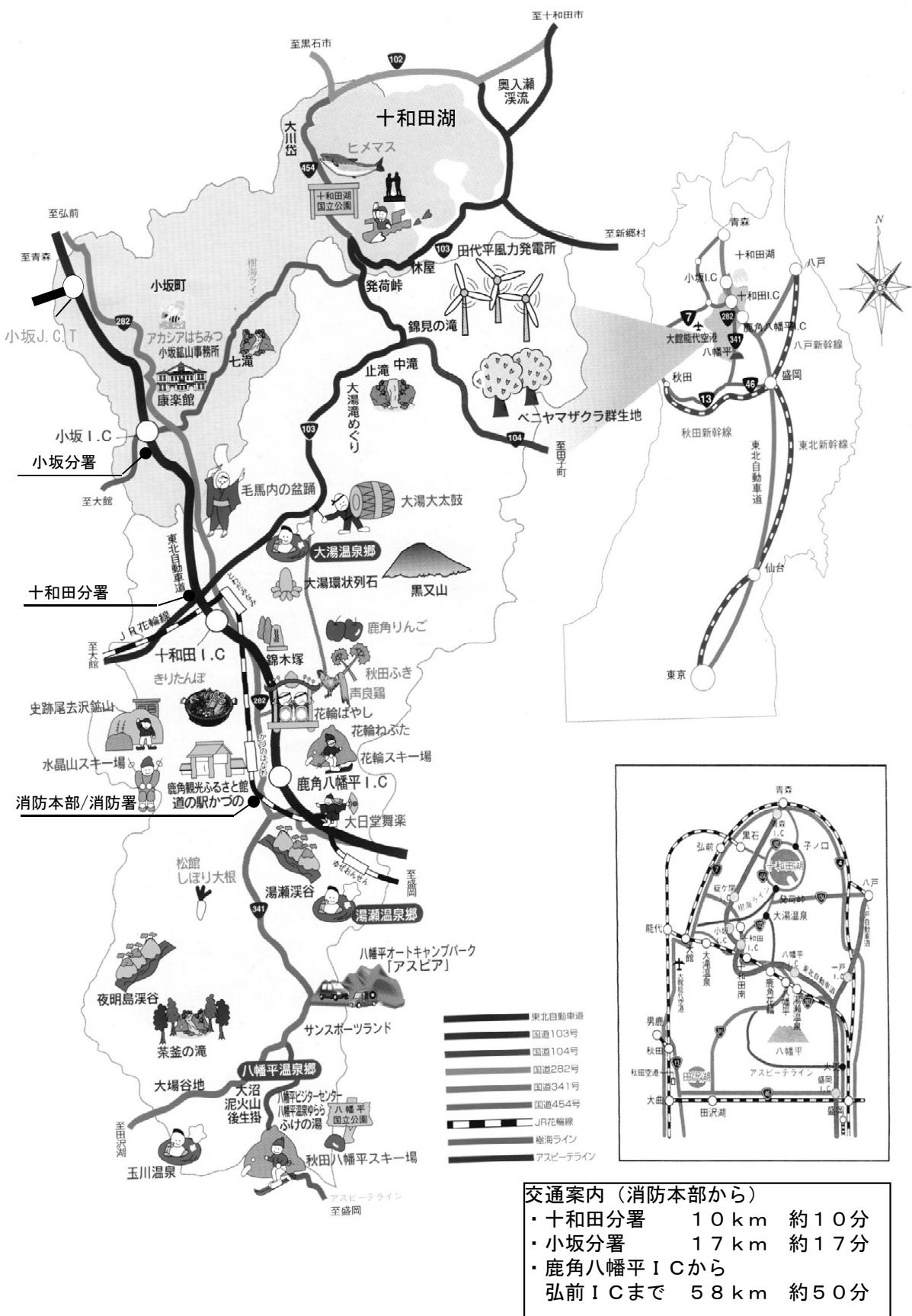
国立公園十和田八幡平を擁し、圏内を東北縦貫自動車道が通り、「鹿角八幡平」、「十和田」、「小坂」の三つのインターチェンジにより、青森、八戸、弘前、盛岡などの各都市と1時間経済圏となります。また、秋田自動車道と東北縦貫自動車道に接続するため日本海沿岸東北自動車道に小坂ジャンクションが建設されました。東北新幹線、あきた北空港と相まって首都圏との所要時間が大幅に短縮されたことから、自然をはじめとする豊富な資源を生かし、県内はもとより、北東北でも有数の観光地として21世紀での産業、観光面の発展が期待されています。

## 管内の面積・人口・世帯数

平成27年4月1日現在



## 鹿角広域行政組合圏域図



## 消防の沿革

年 月	事 項
明治23年 4月	鹿角郡内に消防組が創設される。
明治23年 5月	花輪町消防組創設される。 (2部制で120名の組織)
明治26年以前	私立消防組である小坂鉱山消防隊創設される。 (明治44年当時2部制で消防夫は300名)
明治28年 9月	毛馬内消防組創設される。 (2部制で81名の組織)
明治42年 9月	小坂村消防組創設される。 (2部制で95名の組織)
昭和12年 4月	毛馬内消防組、消防ポンプ自動車(ダッヂブラザース) 1台購入配備する。 鹿角市消防団第12分団(旧毛馬内1分団)が記念保存。
昭和23年 7月	消防団令公布となる。警防団は改組し消防団となる。
昭和29年 7月	花輪町消防団常備部が設置される。 小坂町と七滝村が合併し、新小坂町が発足する。
昭和30年 4月	花輪町消防団常備部を廃止し、花輪町消防本部及び消防署が設置される。 小坂町消防団初代団長に小笠原省吾氏就任。
昭和34年 4月	小坂町消防団長に山内二郎氏就任。
昭和36年10月	花輪町消防庁舎を新築。(鹿角市消防団第1分団、旧花輪第1分団第2部器具置き場)
昭和39年 4月	小坂町消防団に常備部が設置される。
昭和40年12月	花輪町消防署救急業務開始。
昭和45年 4月	十和田町消防団に常備部が設置される。
昭和46年 4月	小坂町消防団長に多田弘氏就任。
昭和47年 4月	花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村の4箇町村が合併し鹿角市が誕生。 鹿角市消防本部及び消防署を設置し発足する。 鹿角市消防長事務取扱に鹿角市長阿部新氏就任。 暫定措置として、消防団組織を当分の間、「鹿角市連合消防団」として発足する。 (4団、花輪、十和田、尾去沢、八幡平、39箇分団、定員1,132名) 鹿角市連合消防団長に大里文雄氏就任。 小坂町消防団長に山崎文夫氏就任。
昭和48年 4月	鹿角市消防長に石木田芳郎氏就任。
昭和49年 5月	鹿角市花輪字高井田64番地2に消防本部・署庁舎新築移転、業務開始。
昭和49年11月	ポンプ車1台(日本損害保険協会)が寄贈され、消防署に配備する。
昭和50年 5月	鹿角市十和田毛馬内字上陣場74番地1に消防署十和田分署庁舎新築移転、業務開始。
昭和50年 8月	第28回全県消防大会を鹿角市で開催。
昭和50年 9月	鹿角市消防本部救助隊を設置する。
昭和50年12月	救急車(2B型)1台(秋田県農業共済組合)が寄贈され、十和田分署へ配備する。
昭和51年 9月	救急車(2B型)1台(財団法人日本消防協会)が寄贈され、消防署へ配備する。 秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和54年 9月	鹿角市連合消防団長に関富治氏就任。 鹿角市連合消防団(17箇分団39部制)が統合し、鹿角市消防団として発足する。(消防団員定員1,150人)
昭和55年 2月	消防署八幡平分駐所(第7分団、旧八幡平第1分団第1部番屋、一部改築)を設置、職員(機関員)を派遣し、業務開始。
昭和56年 4月	鹿角市消防長に泉谷金悦氏就任。
昭和56年10月	救急車(2B型)1台(財団法人日本消防協会)が寄贈され、消防署へ配備する。

年 月	事 項
昭和57年 4月	鹿角市消防長に奈良喜三郎氏就任。
昭和57年 9月	鹿角市少年婦人防火委員会発足。
昭和58年10月	東北自動車道鹿角八幡平 IC開通。 盛岡地区広域行政事務組合と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和59年 1月	救助工作車を購入し、消防署に配備する。
昭和59年 5月	鹿角市消防長に山崎寛二氏就任。
昭和59年 7月	第37回秋田県消防大会を鹿角市で開催。
昭和59年 9月	東北自動車道十和田 IC開通。
昭和60年 2月	化学車を購入し、消防署に配備する。
昭和60年 5月	全国消防長会法制委員会を鹿角市で開催。
昭和60年 8月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和61年 1月	鹿角市・小坂町が救急に関する覚書締結。
昭和61年 5月	弘前地区消防事務組合・小坂町と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和61年 6月	東日本高速道路(株)（旧日本道路公団）と消防無線設備に関する確認書を締結。
昭和61年 7月	東日本高速道路(株)（旧日本道路公団）と東北自動車道安代 IC～碇ヶ関 ICの覚書を締結。東北自動車道の全線開通に先駆けて坂梨トンネルの総合防災訓練を実施する。
昭和62年 6月	鹿角市消防団再編成計画策定される。
昭和62年 7月	東北自動車道全線開通後、弘前地区消防事務組合・小坂町と坂梨トンネル夜間総合防災訓練を実施する。
昭和63年 2月	鹿角市緊急通報システム業務開始。（一人暮らし老人等世帯）
昭和63年 7月	鹿角市消防長に阿部貫雄氏就任。
昭和63年10月	第11回全国消防操法大会に鹿角市消防団第14分団（旧十和田錦木第1分団第3部）が出場し、準優勝する。
平成元年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員1,030人。
平成元年 9月	各防災関係機関及び医療機関による集団救急災害対策訓練を実施する。 財団法人全国消防協会東北地区支部予防広報講習を鹿角市で開催。
平成元年10月	鹿角市・小坂町の東北自動車道消防相互応援協定を締結。
平成 2年 4月	鹿角市・小坂町の消防相互応援協定を締結。 幼年消防クラブが結成、鹿角市幼少年婦人防火委員会となる。
平成 2年10月	鹿角市消防団第1分団（旧花輪第1分団）の部を統合し、4部から2部となる。（消防団再編成 17分団38部）
平成 3年 2月	東北自動車道小坂 IC開通。小坂町消防団常備部で救急業務を開始。 救急車（2B型）4WD1台（秋田県経済連農業協同組合連合会）が寄贈され、消防署へ配備する。
平成 3年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員930人。
平成 3年 9月	鹿角市消防長に杉澤誠志郎氏就任。 小型動力ポンプ付積載車1台（財団法人日本消防協会）が寄贈され、鹿角市消防団第8分団（旧八幡平第2分団第2部、長牛）へ配備する。
平成 3年10月	平成3年度鹿角市総合防災訓練を花輪地区大町で実施する。
平成 4年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員892人。
平成 5年 1月	鹿角市消防長に阿部菊美氏就任。 鹿角市消防出初式を花輪地区大町に会場を変更して開催。
平成 5年 7月	第46回秋田県消防大会を鹿角市で開催。
平成 5年 8月	湯瀬温泉地区自主防災組織が八幡平湯瀬で総合防災訓練を実施する。
平成 6年 4月	鹿角市消防長に大里博志氏就任。

年 月	事 項
平成 6年 6月	鹿角市と小坂町との一部事務組合に消防・救急業務を加えた広域行政組合が発足、鹿角広域行政組合消防本部として消防職員定数98名で平成6年6月1日より業務を開始する。 鹿角広域行政組合消防救助隊を設置する。 青森県十和田地区消防事務組合と消防応援協定を締結。 鹿角広域行政組合消防長に大里博志氏就任。
平成 6年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成 6年11月	小坂町総合防災訓練を実施。
平成 7年 4月	鹿角広域行政組合消防長に佐藤一彦氏就任。
平成 7年 6月	財団法人日本防火協会と財団法人自治総合センターから、視聴覚資機材を搭載した『宝くじ号・防火広報車』1台寄贈され、消防署に配備する。
平成 7年 8月	平成7年度鹿角市総合防災訓練を十和田毛馬内地区で実施する。
平成 7年 9月	鹿角市消防団長に菅原徳弥氏就任。
平成 8年 1月	秋田県緊急消防援助隊発足。秋田県消火部隊・化学消火部隊として登録する。
平成 8年 8月	平成8年度鹿角市総合防災訓練を尾去沢地区で実施する。
平成 8年11月	救急車（2B型）4WD1台を購入し、十和田分署へ配備する。
平成 9年 3月	救急車（2B型）4WD1台（秋田県経済連農業協同組合連合会）が寄贈され、消防署へ配備する。
平成 9年 4月	鹿角広域行政組合消防長に大里勲氏就任。
平成 9年11月	消防署通信指令台を更新する。
平成10年 3月	鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地1に消防署小坂分署新築移転し、業務を開始する。
平成10年 8月	平成10年度鹿角市総合防災訓練を八幡平地区で実施する。
平成10年12月	小坂町消防団長に多田勝一氏就任。
平成11年 4月	消防職員の勤務体制を2部制から3部制へ移行する。 高規格救急車を配置し、救急救命士が搭乗し運用を開始する。
平成11年 5月	鹿角市消防団第2分団（旧花輪2分団）が消防団再編成により分離し、1部制から2部制に再編する。
平成11年 8月	地震災害対策訓練を実施する。
平成11年 8月	平成11年度鹿角市総合防災訓練を大湯地区で実施する。（秋田県消防航空隊参加）
平成12年 4月	平成12年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が秋田市新屋旧空港跡地で開催され、秋田県消火部隊として訓練参加する。
平成12年 8月	鹿角広域行政組合消防長に児玉弘志氏就任。
平成12年10月	小坂町総合防災訓練を実施する。
平成13年 3月	小坂町消防団長に本田隆爾氏就任。
平成13年10月	消防署十和田分署のポンプ車を水槽付消防ポンプ自動車（4WD）へ更新配備する。
平成14年 3月	消防署小坂分署に高規格救急車を配備し運用を開始する。また、それまで運用していた救急車（2B型）4WD1台を秋田県消防学校へ寄贈する。
平成14年 7月	秋田県緊急消防援助隊部隊に救助隊を追加登録する。
平成15年 2月	第55回秋田県消防大会を鹿角市で開催予定であったが、大雨の為中止となる。
平成15年 3月	消防署の救助工作車を更新配備する。
平成15年 4月	財団法人日本消防協会より『消防団指揮広報車』を寄贈され、鹿角市消防団本部へ配備する。
平成15年 8月	鹿角市消防団長に米沢将之助氏就任。
	秋田県消防操法大会ポンプ車操法の部において、小坂町消防団第4分団万谷班が優勝。

年 月	事 項
平成15年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成16年 4月	鹿角広域行政組合消防長に齊藤寛樹氏就任。
平成16年 6月	消防署広報車を更新配備する。
平成17年 1月	消防署ポンプ1号車を水槽付消防ポンプ自動車（CD-II）へ更新配備する。
平成17年 4月	鹿角市消防団十和田地区毛馬内、錦木、大湯の各分団を十和田第1分団から第6分団へ名称を改訂する。
平成18年 4月	国道282号線錦木バイパス開通に伴い、火災・救急の出場区分の見直しをする。 消防本部消防行財政改革により、消防署八幡平分駐所を消防署へ統合する。「災害情報配信システム」によるメール配信サービスの運用を開始する。
平成19年 2月	消防署十和田分署の救急車（2B型）を高規格救急車（4WD）へ更新配備する。
平成19年 4月	鹿角広域行政組合消防長に田中孝夫氏就任。 消防長の階級を消防組織法の基準に基づき改正。 鹿角市消防団長に柳澤誠氏就任。 消防団規則改正。鹿角市消防団名称を一連番号に変更。 (鹿角市消防団第1分団～第17分団)
平成19年 8月	鹿角市消防団「市民を守る魅力ある消防団づくり」基本計画を策定。 秋田県初となる機能別団員の導入、協力事業所として3社が登録される。 鹿角市初の女性消防団員が誕生する。
平成19年10月	消防署十和田分署に共動車両として、鹿角市消防団第12分団第1部（旧十和田第1分団第1部）の積載車を配備する。
平成20年 1月	消防署の指令車を指揮車へ更新配備する。 消防署の救急2号車（2B型）を高規格救急車へ更新配備する。これにより、鹿角広域管内の救急車が全車両、高規格救急車になる。 消防署の化学車を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車として更新配備する。 (圧縮空気泡消火装置：CAF S搭載型)
平成20年 3月	鹿角市消防団が団員確保策として、機能別団員の導入、女性消防団員の誕生などが評価され、消防庁長官表彰「消防団等地域活動表彰」を受賞。 「秋田県消防広域化推進計画」が策定され、鹿角市、小坂町は大館市、北秋田市、上小阿仁村で構成されるブロックを提示され、連絡協議会が発足する。
平成20年 4月	女性消防団員によるカラーガード隊発足。
平成20年 6月	平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震により、鹿角広域行政組合消防本部初となる緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が宮城县栗原市へ出動。現場活動に従事し、行方不明者1名を発見する。
平成20年 7月	第66回鹿角支部消防訓練大会で鹿角市女性消防団員がカラーガード隊やポンプ車の機関員として揚水訓練を披露する。また、腕用ポンプでの揚水を披露する。 岩手県沿岸北部を震源とする地震（7月24日発生）により、緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が岩手県へ出動。活動無し。
平成20年 8月	鹿角市消防団第12分団第1部に、県内最古の消防車、通称「ダッヂ」の展示スペースを設置。
平成20年 12月	消防署十和田分署の広報車を更新配備する。 鹿角市女性消防団が地域づくりに貢献したことが評価され、秋田県鹿角地域振興局長から「ふるさと鹿角・小坂いきいき地域づくり活動」特別賞を受賞する。
平成21年 2月	鹿角市消防団機能別消防団の(株)柳沢建設が消防庁長官から「消防団等地域活動表彰」を受賞する。

年 月	事 項
平成21年 4月	鹿角市消防団長に黒澤文男氏就任。 小坂町消防団長に成田俊昭氏就任。 鹿角広域行政組合特別救助隊を設置。
平成21年 8月	消防署小坂分署の広報車を更新配備する。 鹿角市消防団略帽からアポロキャップへ更新する。 小坂町消防団車両未配備の班へ軽積載車を配備する。 (苦竹・余路米班を除く)
平成21年 9月	小坂町消防団員数を202人から190人に定員を改正。
平成21年11月	鹿角市消防団第2分団第1部(下川原)の器具置場を新築移転する。多目的消防拠点施設として水防資材を備え、手引きポンプ、腕用ポンプを展示する。
平成21年12月	鹿角市消防団救急救助支援隊発足。(第7分団、第16分団)
平成22年 3月	携帯電話、IP電話の位置情報通知システムの運用を開始する。
平成22年 4月	鹿角広域行政組合消防長に奈良俊幸氏就任。
平成22年 9月	鹿角市消防団第2分団第2部(用野目)へ消防団救助機材搭載型車両を配備する。
平成22年11月	小坂町で消防団協力事業所の表示証を交付する。(1事業所)
平成23年 1月	鹿角市で消防団協力事業所の表示証を交付する。(10事業所)
平成23年 2月	消防署小坂分署のポンプ車を災害対応水槽付消防ポンプ自動車に更新配備する。(圧縮空気泡消火装置:CAF S搭載型) 消防署小坂分署に共動車両として、小坂町消防団第1分団小坂班の積載車を配備する。
平成23年 3月	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)により緊急消防援助隊(救助隊1隊、消火隊1隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊)が岩手県宮古市田老地区及び、山田町へ出動。現場活動に従事する。 高規格救急車1台(全国共済農業協同組合連合会)が寄贈され、消防署へ配備する。
平成23年 4月	鹿角広域行政組合消防長に沢田正氏就任。 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)により緊急消防援助隊(救急隊1隊、後方支援隊1隊)が宮城県本吉郡南三陸町及び、登米市へ出動。現場活動に従事する。
平成23年 6月	小坂町消防団略帽からアポロキャップへ更新する。
平成24年 4月	小坂町消防団員数を190名から170名に定員を改正。 鹿角広域行政組合消防長に熊谷純二氏就任。
平成24年 8月	平成24年度秋田県総合防災訓練が鹿角市を会場に開催される。
平成24年12月	消防署に資機材搬送車を新規導入する。
平成25年 3月	鹿角市消防団第7分団第2部(熊沢)に日本損害保険協会から軽積載車が寄贈され車両更新する。
平成25年11月	大館市消防本部と秋田自動車道(大館北IC~小坂北IC)消防相互応援協定、覚書を締結。 弘前地区消防事務組合消防本部と東北道消防相互応援協定書、覚書を改正し締結。
平成26年 3月	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部と十和田八幡平地域における消防相互応援協定書、覚書を改正し締結。
平成26年 4月	鹿角広域行政組合消防長に米田均氏就任。 鹿角市消防団員による防災指導員認定制度を導入する。
平成26年12月	財団法人日本消防協会より『防災活動車』を寄贈され、鹿角市消防団本部へ配備する。

## 受 章 記 錄

※平成10年以降を記載した

### 《鹿角市》

平成11年11月	勲七等青色桐葉章	元副団長	大里	克三	氏
平成12年 4月	勲六等単光旭日章	元消防司令	大廣林	忠好	氏
平成13年 4月	勲六等瑞宝章受章	元副団長	田原	四郎	氏
平成15年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	高橋	六郎	氏
平成16年 4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	高橋	七郎	氏
平成16年10月	瑞宝単光章受章	元消防司令補	藤井	喜久治	氏
平成17年 4月	瑞宝双光章受章	元団長	菅原	徳弥	氏
平成18年 4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	星川	俊一	氏
平成18年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	田口	信一	氏
平成19年 4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	山口	喜八郎	氏
平成19年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	工藤	菊良	氏
平成21年 6月	瑞宝単光章受章	元副分団長	加藤	悦郎	氏
平成21年11月	瑞宝単光章受章	元団長	米沢	将之助	氏
平成22年 4月	瑞宝単光章受章	元副団長	伊藤	勇	氏
平成22年 2月	瑞宝単光章受章	元分団長	糠塚	誠造	氏
平成22年 3月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	海沼	忠	氏
平成23年 6月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	奥村	多喜男	氏
平成24年 1月	瑞宝単光章受章	元副分団長	菅生	省三	氏
平成24年 1月	瑞宝単光章受章	元消防監	齊藤	寛樹	氏
平成25年 4月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	金澤	秀美	氏
平成25年 5月	瑞宝単光章受章	元分団長	澤田	正司	氏
平成26年11月	瑞宝単光章受章	元団長	柳澤	誠	氏

### 《小坂町》

平成11年 2月	勲五等双光旭日章	元団長	山崎	文夫	氏
平成13年11月	勲六等瑞宝章受章	元分団長	工藤	亮	氏
平成17年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	和田	眞	氏
平成20年 4月	瑞宝単光章受章	元分団長	木村	甚衛門	氏
平成21年11月	瑞宝単光章受章	元分団長	小笠原	吉孝	氏
平成22年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	川口	正勝	氏
平成22年11月	瑞宝単光章受章	元分団長	清藤	貞夫	氏
平成23年11月	瑞宝単光章受章	元団長	本田	隆爾	氏

# 総務



南出張所庁舎

鹿角警察署の西側に建設された新消防庁舎が完成し、平成27年8月から運用開始されます。それに伴い、現庁舎は南出張所として生まれ変わり救急車1台と職員3名を配置し運用開始となります。

新庁舎は、火災や救急、各種災害に迅速に対応できる防災拠点として、圏域住民の安心および安全性を発信できる消防庁舎を目指しており、南出張所もその一翼を担っていきます。

## 歴代管理者・副管理者・消防長・消防署長一覧表

平成27年4月1日現在

区分	歴代	氏名	就任	退任	在職期間	備考
管理者	初代	杉江宗祐	H 6. 6. 1	H12. 4. 25	5年10月	
	2代	佐藤洋輔	H12. 4. 25	H17. 6. 6	5年 1月	
	3代	児玉 一	H17. 7. 3	(現在)		
副管理者	初代	阿部 節雄	H 6. 6. 10	H 8. 4. 24	1年10月	鹿角市助役
		川口 博	H 6. 6. 1	H21. 3. 31	14年9月	小坂町長
	2代	佐藤秀朗	H 8. 5. 15	H12. 5. 2	3年11月	鹿角市助役
	3代	三村陽一	H12. 5. 23	H16. 5. 16	3年11月	鹿角市助役
	4代	児玉 一	H16. 5. 28	H17. 6. 23	1年	鹿角市助役
	5代	松浦春男	H17. 8. 26	H19. 3. 31	1年 7月	鹿角市助役
	6代	大野佑司	H19. 4. 24	H21. 6. 30	2年 1月	鹿角市副市長
	7代	細越 満	H21. 4. 30	(現在)		小坂町長
	8代	阿部一弘	H21. 8. 5	(現在)		鹿角市副市長
消防長	初代	大里 博志	H 6. 6. 1	H 7. 3. 31	0年10月	
	2代	佐藤一彦	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	2年	
	3代	大里 獢	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	4代	児玉弘志	H12. 4. 1	H16. 3. 31	4年	
	5代	齊藤寛樹	H16. 4. 1	H19. 3. 31	3年	
	6代	田中孝夫	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	7代	奈良俊幸	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	8代	沢田 正	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	9代	熊谷純二	H24. 4. 1	H26. 3. 31	2年	
	10代	米田 均	H26. 4. 1	(現在)		
消防署長	初代	大里 獢	H 6. 6. 1	H 9. 3. 31	2年10月	
	2代	田口信一	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	3代	奥村多喜男	H12. 4. 1	H13. 3. 31	1年	
	4代	海沼忠	H13. 4. 1	H14. 3. 31	1年	
	5代	田中孝夫	H14. 4. 1	H16. 5. 19	2年 1月	
	6代	金澤秀美	H16. 5. 20	H19. 3. 31	2年11月	
	7代	畠山 裕	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	8代	工藤清一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	9代	小舘照男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	10代	柳沢政雄	H24. 4. 1	H25. 3. 31	1年	
	11代	相馬 朗	H25. 4. 1	(現在)		

## 消防職員配置状況

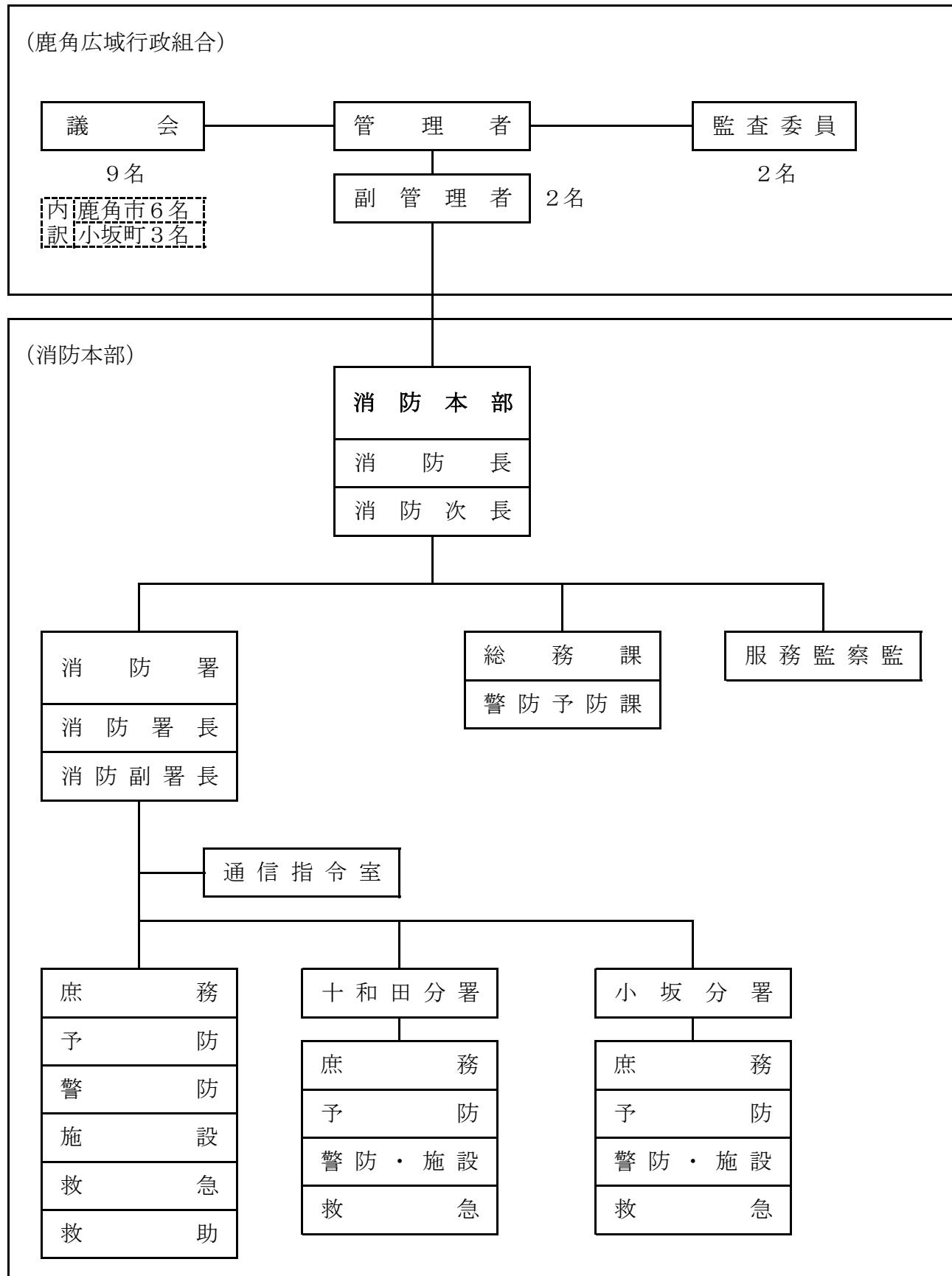
平成27年4月1日現在

階級等 所属別	計	消防吏員						事務職員		派 (鹿角市役所)
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	主査	派遣	
消防本部	10	1	4	3				1	1	
消防署	51		6	15	10	9	11			
十和田分署	12		1	6	5					
小坂分署	15		1	8	1	4	1			
合 計	87	1	12	32	16	13	12	1	1	

※派遣職員は職員の合計数に含まない。

## 鹿角広域行政組合消防本部組織図

平成27年4月1日現在



## 消防本部事務分掌

総務課	<p>(1) 庶務に関すること。</p> <p>ア 組織及び運営に関すること。      イ 消防事務の企画総務調整に関すること。      ウ 庁舎及び消防車両の集中管理に関すること。      エ 消防本部の庶務に関すること。</p> <p>(2) 消防職員の任命、昇任、昇格、賞罰その他身分に関すること。</p> <p>(3) 表彰に関すること。</p> <p>(4) 条例規則に関すること。</p> <p>(5) 行事及び会議に関すること。</p> <p>(6) 文書に関すること。</p> <p>ア 公印の保管に関すること。      イ 文書の収受、発送及び完結文書保存に関すること。      ウ 図書及び消防資料の整理保存に関すること。</p> <p>(7) 消防予算、決算及び経理に関すること。</p> <p>(8) 財産の取得及び処分に関すること。</p> <p>(9) 契約及び物品の調達に関すること。</p> <p>(10) 職員被服に関すること。</p> <p>(11) 消防職員の公務災害に関すること。</p> <p>(12) 消防職員委員会に関すること。</p> <p>(13) 消防職員の研修実施に関すること。</p> <p>(14) 消防職員の福利厚生に関すること。</p> <p>(15) 他の課に属さないこと。</p>
警防予防課	<p>(1) 警防に関すること。</p> <p>ア 火災警報の発令及び解除に関すること。      イ 消防相互応援に関すること。      ウ 警戒区域の設定に関すること。      エ 消防職員の訓練等に関すること。      オ 消防統計及び消防情報に関すること。      カ 消防施設及び消防水利に関すること。      キ 消防施設及び設備の整備計画に関すること。      ク 救急に関すること。      ケ 救助に関すること。      コ 水防に関すること。      サ 行方不明者捜索の相互連絡に関すること。      シ 消防通信に関すること。      ス 消防団の訓練等に関すること。      セ 消防計画に関すること。      ソ 緊急消防援助隊に関すること。</p> <p>(2) 予防に関すること。</p> <p>ア 防火推進団体の育成及び指導に関すること。      イ 防火思想の普及、防火広報に関すること。      ウ 火災損害調査及び火災原因に関すること。      エ 防火管理者及び防火対象物の指導に関すること。      オ 火災予防条例等の届出及び違反処理に関すること。      カ 火災予防条例、規則等の制定改廃に関すること。</p> <p>(3) 設備、危険物に関すること。</p> <p>ア 建築同意事務に関すること。      イ 消防用設備等及び消防設備士の指導等に関すること。      ウ 危険物施設等の許認可に関すること。      エ 危険物等に係る条例、規則等の制定改廃に関すること。      オ 液化石油ガス等販売事業及び火薬庫設置に関すること。      カ 液化石油ガス等の設備工事等の届出受理に関すること。</p> <p>(4) その他警防予防課に関すること。</p>

## 消防署事務分掌

庶務	(1) 署の庶務に関すること。 (2) 公印の保管に関すること。 (3) 署員の服務規律に関すること。 (4) 消防署の予算に関すること。
警防	(1) 警防の実施計画に関すること。 (2) 火災その他の災害の防御及び調査に関すること。 (3) 署員の訓練実施等に関すること。 (4) 非常警備に関すること。 (5) 消防水利施設の調査及び保守管理に関すること。 (6) 水防訓練実施に関すること。 (7) 消防団員の訓練指導等に関すること。
予防	(1) 予防査察及び予防広報に関すること。 (2) 火災の原因調査に関すること。 (3) 危険物に関すること。 (4) 防火対象物の消防計画に関すること。 (5) 鹿角広域行政組合火災予防条例に基づく届出及び指導に関すること。
施設	(1) 消防機械器具の整備及び保守管理に関すること。 (2) 消防機械器具の部品及び燃料等の調達、管理に関すること。 (3) 機械器具操作技術の指導に関すること。
救急	(1) 救急業務に関すること。 (2) その他救急全般に関すること。
救助	(1) 救助及び行方不明者捜索業務に関すること。 (2) 救助隊に関すること。 (3) 救助の統計及び報告に関すること。 (4) 緊急消防援助隊の編成、訓練及び出動に関すること。
通信指令室	(1) 消防通信の確保及び統制に関すること。 (2) 通信施設、機器の保全に関すること。 (3) 気象情報、災害情報及び救急医療情報の収集並びに連絡に関すること。 (4) 火災警報に関すること。 (5) 消防通信の統計及び報告に関すること。 (6) 消防通信技術の調査研究に関すること。 (7) その他通信指令の分掌として適當とする事項に関すること。

## 消防庁舎の概要

### 消防本部・署庁舎



所在地：鹿角市花輪字高井田64番地2

敷地面積：2,589.00m<sup>2</sup>

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

延べ面積：1,023.74m<sup>2</sup>

建築年月日：昭和49年 5月 8日

### 小坂分署庁舎



所在地：鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地1

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

敷地面積：3,700.29m<sup>2</sup>

延べ面積： 935.57m<sup>2</sup>

建築年月日：平成10年 2月28日

### 十和田分署庁舎



所在地：鹿角市十和田毛馬内字上陣場74番地1

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

敷地面積：1,287.72m<sup>2</sup>

延べ面積： 363.89m<sup>2</sup>

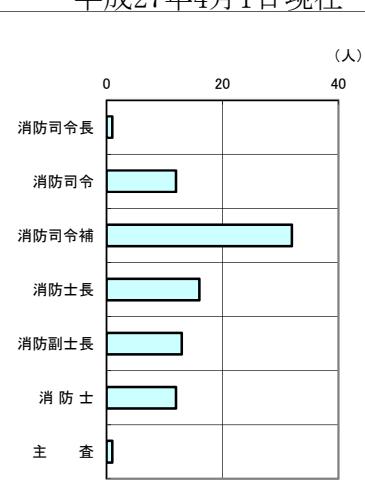
建築年月日：昭和50年 3月25日

昭和63年 3月31日増築

## 消防職員勤務年数表

平成27年4月1日現在

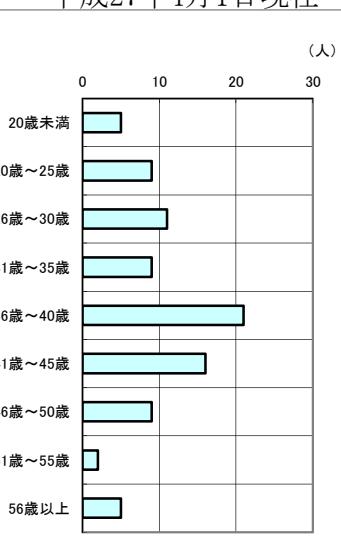
階級等 年数	計	消 防 吏 員						事務職員
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
1年未満	3						3	
1年～5年	16					6	9	1
6年～10年	7					7		
11年～15年	8				3	5		
16年～20年	23		2	10	11			
21年～25年	19		2	17				
26年～30年	2		2					
31年以上	9	1	6	2				
計	87	1	12	32	16	13	12	1



## 消防職員階級別年齢表

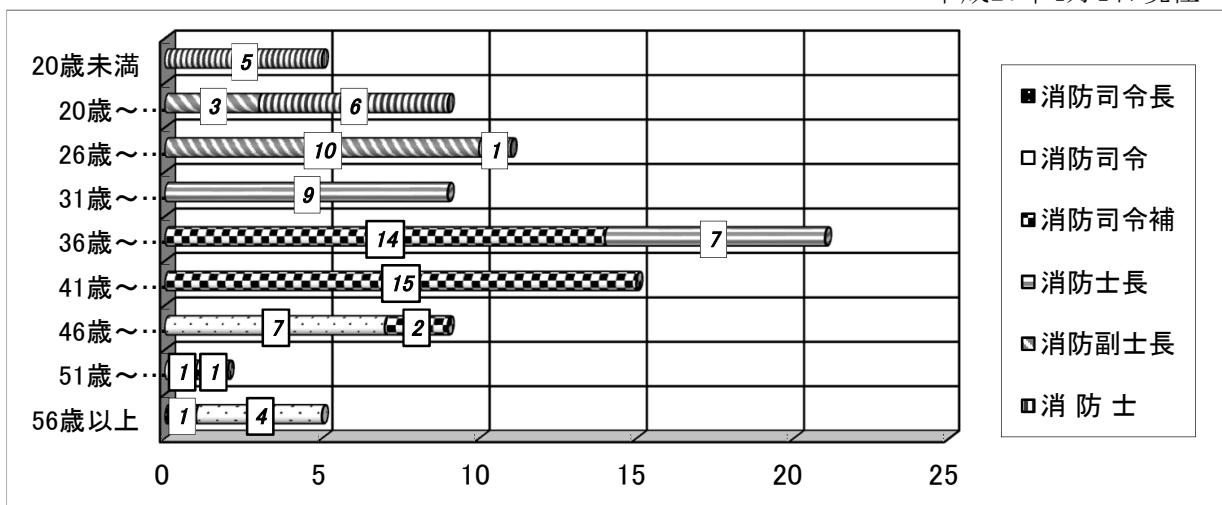
平成27年4月1日現在

階級等 年齢	計	消 防 吏 員						事務職員
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
20歳未満	5						5	
20歳～25歳	9					3	6	
26歳～30歳	11					10	1	
31歳～35歳	9				9			
36歳～40歳	21				14	7		
41歳～45歳	16				15			1
46歳～50歳	9		7	2				
51歳～55歳	2		1	1				
56歳以上	5	1	4					
計	87	1	12	32	16	13	12	1
平均年齢	40.24	59.1	51.9	41.3	32.2	26.4	20.7	44.1



## 消防吏員年齢別階級分布図

平成27年4月1日現在



## 消防費分類表

平成27年4月1日現在

(単位 : 千円)

款項目	節	当初予算	
		27年度	26年度
3 消防費		743, 294	1, 816, 225
1 消防費		743, 294	1, 816, 225
1 常備消防費		743, 294	702, 898
	1給料	290, 865	286, 903
	2職員手当等	276, 441	263, 103
	4共済費	99, 804	93, 567
	8報償費	0	48
	9旅費	3, 540	2, 666
	11需用費	31, 773	24, 832
	12役務費	7, 744	5, 681
	13委託料	9, 639	5, 949
	14使用料及び賃借料	4, 699	5, 009
	16原材料費	100	100
	18備品購入費	1, 658	812
	19負担金、補助及び交付金	16, 680	13, 549
	27公課費	351	679
2 消防施設費		46, 201	1, 113, 327
	9旅費	72	194
	11需用費	72	173
	12役務費	185	58
	13委託料	4, 450	16, 312
	14使用料及び賃借料	22	36
	15工事請負費	11, 400	1, 096, 434
	16原材料費	0	0
	18備品購入費	30, 000	120
	22補償、補てん及び賠償金	0	0
	27公課費	0	0

## 消防職員免許所持状況

平成27年4月1日現在

種別	階級等	計	消防吏員						事務職員 その他の職員
			消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
自動車	大型特殊	11		4	6		1		
	引ん	3			3				
	大型一種	74	1	12	32	16	12	1	
	普通一種	86	1	12	31	16	13	12	1
	自動二輪	21	1	3	8	6	1	2	
整備	可搬ポンプ	5		1	3	1			
救急関係	救急救命士	20		4	8	4	2	2	
	救急科(救急II課程)資格	67	1	12	31	15	7	1	
救助関係	移動式クレーン技能	69	1	12	29	16	8	3	
	玉掛け技能	67	1	12	31	14	8	1	
	ガス溶接技能	62		11	30	16	4	1	
	高所作業主任者(足場組立)	17		3	10	4			
	有機溶剤作業主任者	55		7	31	12	5		
	特定化学物質作業主任者	55		7	29	12	5	2	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	61		9	31	14	6	1	
	巻上げ機運転業務に係る特別講習	28		2	14	9	3		
	チエンソーアルミ取扱技能	24		4	12	4	4		
	潜水士	6			4	1	1		
予防関係	防火査察	17	1	4	10	1	1		
	予防技術資格者	6	1	4	1				
	危険物	10	1	3	5	1			
	消防設備士甲種	2			2				
	消防設備士乙種	15		4	5	4	2		
	危険物取扱者甲種	2			1	1			
通信関係	危険物取扱者乙種4類	78	1	11	30	16	11	9	
	第1級陸上特殊無線技士	1			1				
	第2級陸上特殊無線技士	75		7	31	16	13	8	
	アマチュア無線技士	20		5	12		3		
その他	大型車両系建設機械の運転業務	1		1					
	小型車両系建設機械の運転業務	12			7	2	3		
	防災士	7	1	5	1				
	電気取扱業務に係る特別教育(低圧)	18		2	10	2	3	1	
	高所作業車取扱技能	3		1	2				
	衛生管理者	3		1	2				
	ボイラー技士・取扱技能	7		2	5				
	アーク溶接技能	53	1	9	27	12	3	1	

## 消防職員学校教育派遣状況

平成26年度

年 度 别		平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度	平 成 23 年 度	平 成 24 年 度	平 成 25 年 度	平 成 26 年 度	20 年 度 ～ 26 年
教育課程									
秋田県消防学校	初任教育	3	2	3	3	3	3	2	19
専門科	警防科	1	1	1	1	1	1	1	7
	予防査察科	1		1		1		1	4
	火災調査科	1	1	1	1	1	1	1	7
	救急科	2	2	3	3	3	3	3	19
	救助科	1	1	1	1	1	1	1	7
	危険物科		1		1		1		3
	特殊災害科	1	1	1	1	1	1	1	7
幹部教育	幹部教育	1	1	1	1	1	1	1	7
幹部教育	中級幹部科								0
	上級幹部科								0
特別教習	消防操法指導員講習	2	2	2	2	2	2	2	14
	救急特別講習	1		1		1		1	4
	気管挿管追加講習								0
	ビデオ喉頭鏡追加講習						5	2	7
	薬剤投与追加講習	1	1	3	3				8
	追加処置認定講習						4	12	16
育成	新任消防長研修								0
消防大学校	予防科							1	1
消防大学校	救助科					1			1
救急救命東京研修所	救急救命士教育		1		1		1		3
	合 計	15	14	18	18	16	24	29	134

### 秋田県消防学校

	期 間	実施時間	派遣数	備 考
初任教育	平成26年 4月 9日～ 9月19日	800	2	第 68 期
消防操法指導員講習	平成26年 5月 8日～ 5月 9日	12	2	
幹部教育	平成26年 7月24日～ 8月 1日	49	1	第 9 期
救助科	平成26年10月 1日～ 10月29日	151	1	第 23 期
ビデオ喉頭鏡追加講習	平成26年11月 6日～ 11月 7日	9	2	第 3 期
特殊災害科	平成26年11月13日～ 11月21日	49	1	第 7 期
警防科	平成26年 9月29日～ 10月10日	70	1	第 41 期
予防査察科	平成26年12月 1日～ 12月12日	70	1	第 40 期
救急特別講習	平成26年12月 8日～ 12月12日	31	1	
救急科	平成27年 1月 7日～ 2月27日	250	3	第 23 期
	平成26年 4月18日、22日、23日	24	2	第 2 期
	平成26年 5月 9日、20日、21日	24	3	第 3 期
追加処置認定講習	平成26年 6月13日、17日、18日	24	3	第 4 期
	平成26年 7月18日、22日、23日	24	3	第 5 期
	平成26年11月26日～ 11月28日	24	1	第 6 期

# 施設



## 消防車両等一覧表

平成27年4月1日現在

消防本部	名称	指揮車	
	購入年月	平成19年10月	
	車名	日産キャラバン	
	出力	130ps	
	気筒数	4	
	装備	照明灯、ルーフキャリア	
	駆動方式	四輪駆動	
消防防署	名称	本部広報車	
	購入年月	平成12年9月	
	車名	日産プレサージュ	
	出力	150ps	
	気筒数	4	
	装備	照明灯	
	駆動方式	四輪駆動	
消防防署	名称	消防団広報車	
	購入年月	平成15年3月	
	車名	日産ブルーバードシルフィー	
	出力	120ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	二輪駆動	
	備考	日本消防協会寄贈	
消防防署	名称	防災活動車	
	購入年月	平成26年12月	
	車名	日産クリッパー	
	出力	49ps	
	気筒数	3	
	駆動方式	四輪駆動	
	備考	日本消防協会寄贈	
消防防署	名称	資機材搬送車	
	購入年月	平成24年12月	
	車名	いすゞエルフ	
	出力	110ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	ウイングボディー、マルチゲート	
	ぎ装	いすゞ車体、北村製作所、新明和工業	
	対空表示	秋田鹿角搬送	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
消防防署	名称	広報車	
	購入年月	平成16年6月	
	車名	日産エクストレイル	
	出力	150ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

消	名称	水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成4年12月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	195ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000リットル 放水銃 照明灯、三連梯子自動昇降装置	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
防	名称	ポンプ1号車	
	購入年月	平成17年1月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	パワーゲート、照明灯 積載水900リットル	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	対空表示	鹿角ボ1	
署	名称	ポンプ2号車	
	購入年月	昭和61年12月	
	車名	三菱キャンター	
	出力	110ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	パワーゲート	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
署	名称	救助工作車	
	購入年月	平成15年2月	
	車名	いすゞフォワード	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	照明、クレーン、ワインチ、噴霧装置	
	ぎ装	日本機械工業株式会社	
	対空表示	秋田R4	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
署	名称	化学車	
	購入年月	平成20年2月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	220ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水1,500リットル 薬剤A30リットル 薬剤B500リットル	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	対空表示	秋田化2	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
署	名称	救急1号車	
	購入年月	平成20年2月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	対空表示	秋田A15	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	

消防署	名称	救急2号車	
	購入年月	平成23年3月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	その他	全国共済農業協同組合連合会寄贈	
十和田分署	名称	十和田水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成13年9月	
	車名	いすゞフォワード	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000リットル 三連梯子自動昇降装置 照明灯	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
田代分署	名称	十和田救急車	
	購入年月	平成19年1月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	対空表示	秋田A12	
小坂分署	名称	十和田広報車	
	購入年月	平成20年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
小坂分署	名称	小坂水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成13年10月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	125ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
小坂分署	名称	小坂救急車	
	購入年月	平成13年10月	
	車名	日産パラメディック	
	出力	125ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	

小坂分署	名称	小坂広報車	
	購入年月	平成21年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

## 消防車両の使用経過年数状況

平成27年4月1日現在

消防本部	車両名	配備年	平成27年4月 現在経過年数	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	7年以上	10年以上	15年以上	25年以上
消防署	指揮車	平成19年4月	8年 0月							1			
	本部広報車	平成12年9月	14年 7月								1		
	消防団広報車	平成15年3月	12年 11月								1		
	防災活動車	平成26年12月	0年 4月	1									
消防署	資機材搬送車	平成24年12月	2年 4月			1							
	広報車	平成16年6月	10年 10月							1			
	水槽付きポンプ自動車	平成4年12月	22年 4月								1		
	ポンプ1号車	平成17年1月	10年 3月							1			
	ポンプ2号車	昭和61年12月	28年 3月									1	
	救助工作車	平成15年2月	12年 2月								1		
	化学車	平成20年2月	7年 2月							1			
	救急1号車	平成20年2月	7年 2月							1			
	救急2号車	平成23年3月	4年 1月						1				
十和田分署	水槽付きポンプ自動車	平成13年9月	13年 7月								1		
	救急車	平成19年1月	8年 3月							1			
	広報車	平成20年7月	6年 9月							1			
小坂分署	水槽付きポンプ自動車	平成23年2月	4年 2月					1					
	救急車	平成13年10月	13年 5月								1		
	広報車	平成21年7月	5年 9月						1				
鹿角広域行政組合消防本部保有消防車両総数			19台	1台	0台	1台	0台	2台	2台	4台	7台	1台	1台

## 消防水利状況

平成27年4月1日 現在

水利区分 管轄別	消火栓		防火水槽				指定外 水 利 プール	
	布設管径		有蓋		無蓋			
	150mm 以上	150mm 未満 (基準)	40m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 未満		
<b>消防署小計</b>	<b>161</b>	<b>230</b> <b>(164)</b>	<b>167</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>13</b>	
花 輪	72	99 (86)	67	2	2		7	
尾 去 沢	61	86 (54)	21	10			2	
八 幡 平	28	45 (24)	79	2	8	3	4	
<b>十和田分署小計</b>	<b>73</b>	<b>129</b> <b>(47)</b>	<b>71</b>	<b>1</b>			<b>8</b>	
毛 馬 内	41	59 (29)	15				5	
大 湯	19	46 (8)	31				2	
錦 木	13	24 (10)	25	1			1	
<b>小坂分署小計</b>	<b>49</b>	<b>75</b> <b>(33)</b>	<b>51</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	
上向・十和田湖	4	14 (6)	8	1				
中 央	18	31 (15)	21				1	
川 上	15	15 (1)	6				1	
七 滝	12	15 (11)	16				1	
<b>合 計</b>	<b>283</b>	<b>434</b> <b>(244)</b>	<b>289</b>	<b>16</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>24</b>	

### ※消防水利の基準(消防法第20条第1項)

消防水利は、常時貯水量が40m<sup>3</sup>以上又は取水可能水量が毎分1m<sup>3</sup>以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有するものでなければならない。

消火栓は、呼称65の口径を有するもので、直径150mm以上の管に取り付けられていないければならない。ただし、管網の一辺が180m以下となるように配管されている場合は75mm以上とすることができます。

## 水防倉庫所在地一覧

平成27年4月1日 現在

地区名	河川名	水防倉庫名	建築年月日	設置場所
花輪	米代川	鹿角市	平成11年3月18日	鹿角市花輪字新田町11番地4
	米代川	下川原	平成21年11月20日	鹿角市花輪字下川原35番地4
十和田	大湯川	十和田	昭和36年1月23日	鹿角市十和田毛馬内字上陣場9番地5
小坂	小坂川	小坂	平成22年2月12日	鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地3

## 水防倉庫資材状況

平成27年4月1日 現在

品名	倉庫名	単位	鹿角市	下川原	十和田	小坂	計
土嚢		袋	1,100	115	306	199	1,720
麻袋		枚	80	220	56		356
ビニール袋		枚					0
PPクランプ袋		枚					0
PE土嚢袋		枚	1,750	450	356	3,407	5,963
むしろ		枚			40		40
玉縄		丸	72	50	22	28	172
掛矢		丁	5	3	1	9	18
角スコップ		丁				35	35
剣スコップ		丁	45	9	57	53	164
鈍線		kg	100	70	100	30	300
鉈鎌		丁	2		3	2	7
竹		本	21	50	22	69	162
長木4m		本	6	16	50	24	96
長木3m		本	23	40	8		71
長木2m		本	12	22	18		52
杭		木	6		2	13	21
ロープ		本	5		3	12	20
鋸		丁	1	1	2		4
鉈		丁	6		2	6	14
斧		丁	2	1	1	3	7
絶縁ペンチ		本	1	1	1		3
SBパイル		本	366	32	265	176	839
ビニールシート		枚	18	30	14	10	72
もつこ		枚		7			7
唐鍬		丁	7		13	18	38
つるはし		丁			1	36	37
一輪車		台				6	6
防火用具袋		袋	2				2
道具袋		袋	1	1	1		3
ハンドマイク		台	5				5

# 予 防



秋田県では、東日本大震災を受け、教育機関等における防災教育を支援し、より実戦的な防災知識の普及啓発を図るため、地震の揺れを体験できる「地震体験車」を導入しました。

地震体験車とは、様々な地震動をリアルに再現する装置を車輪に搭載し、いつでもどこでもたくさんの人に地震の実態や地震に対する備えなどを総合的に伝えることのできる車です。

鹿角市、小坂町でも各地のイベントや、自衛消防訓練等で多くの市民の方に体験してもらえるよう計画しております。

## 防火対象物及び立入検査状況（150m<sup>2</sup>以上）

※立入検査を複数回実施している防火対象物があります

平成26年度

防火対象物の用途	市町別	防火対象物		立入検査実施数		違反対象物数	
		鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
1 イ 劇場・映画館等 ロ 公会堂又は集会場	2						
	83	7	1			1	
2 イ キャバレー等 ロ 遊技場・ダンスホール ハ 性風俗関連特殊営業店舗等 ニ カラオケボックス等							
	4						
3 イ 待合・料理店等 ロ 飲食店	1						
	25	2	7	1	7	1	1
4 百貨店又はマーケット等	79	8	7	1	5	1	
5 イ 旅館・ホテル等 ロ 寄宿舎・共同住宅等	29	15	19	15	12	10	
	156	13	1	2			
6 イ 病院・診療所等 ロ 福祉施設等（障害程度が重い） ハ 福祉施設等（障害程度が軽い） ニ 幼稚園・特別支援学校等	19	2	3		3		
	21	6	19	6	4	3	
	29	6	32	3	17		
	2		1				
7 学校関係	18	1		1		1	
8 図書館・博物館等	8	5	3	4	2	4	
9 イ 蒸気浴場・その他 ロ イ以外の公衆浴場							
	8						
10 車両停車場等	2	1		1		1	
11 神社・寺院等	39	3	1	3		3	
12 イ 工場・作業場 ロ スタジオ	193	51	23	20	16	3	
13 イ 自動車車庫・駐車場 ロ 飛行機等の格納庫	18	3	3		1		
14 倉庫	146	26		10			
15 前各項に該当しない事業所	176	133	29	4	26	3	
16 イ 複合用途防火対象物 ロ イ以外の複合用途防火対象物	209	20	31	8	24	5	
	78	8		1			
その他の	3	2			1	1	
合 計	1,348	312	180	80	119	36	

## 危険物製造所等の立入検査状況

平成26年度

区分 製造所の別	廃止		総施設数		立入検査実施数		違反施設数	
	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
製造所			1					
貯蔵所	屋内		9	4		2		
	屋外タンク		7	12		7		
	屋内タンク	1	2					
	地下タンク	2	1	94	22	36	14	15
	移動タンク	6	1	43	11	38	10	3
	屋外		1	1		1		1
	簡易タンク			1				
取扱所	給油	営業		22	5	16	5	5
		自家		9		3		
	一般	1		31	12	11	8	1
合計		10	2	219	68	104	47	24
								4

## 消防法令等による許可申請等の状況

平成26年度

種別	件数
工事整備対象設備等着工届	39
消防用設備等設置届	87
消防用設備等検査済証	33
消防用設備等点検結果報告書	471
防火管理者選任届	81
防火管理者解任届	64
消防計画届	147
防火対象物使用開始届	36
自衛消防訓練通知書	337
火災とまぎらわしい行為届出	188
少量危険物貯蔵取扱届	36
り災証明	16

種別	件数
危険物製造所等	設置許可申請
	設置許可指令
	変更許可申請
	変更許可指令
	設置完成検査申請
	設置完成検査済証
	変更完成検査申請
	変更完成検査済証
	譲渡引渡届
	廃止届
仮使用承認	
危険物保安監督者選任届	
危険物保安監督者解任届	
危険物種類数量変更届	
危険物仮貯蔵仮取扱承認	

## 建築同意状況

平成26年度

防火対象物の用途		鹿角市	小坂町	計
1	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂又は集会場		1	1
2	イ キャバレー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール			
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
3	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店			
4	百貨店又はマーケット等	1		1
5	イ 旅館・ホテル等			
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	1	2	3
6	イ 病院・診療所等	1		1
	ロ 福祉施設等（障害程度が重い）	4		4
	ハ 福祉施設等（障害程度が軽い）	2		2
	ニ 幼稚園・特別支援学校等			
7	学校関係			
8	図書館・博物館等			
9	イ 蒸気浴場・その他			
	ロ イ以外の公衆浴場			
10	車両停車場等	1		1
11	神社・寺院等			
12	イ 工場・作業場	2	1	3
	ロ スタジオ			
13	イ 自動車車庫・駐車場	4		4
	ロ 飛行機等の格納庫			
14	倉庫	1		1
15	前各項に該当しない事業所	9	6	15
16	イ 複合用途防火対象物	9		9
	ロ イ以外の複合用途防火対象物			
上記以外の住宅等建築物		39	10	49
合 計		74	20	94

## 防火対象物定期点検報告制度状況

平成26年度

市町別			対象物		点検基準適合数		特例認定数	
			鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
1項	イ	劇場・映画館等	1					
	ロ	公会堂・集会場	7		3			
2項	ロ	遊技場・ダンスホール	2				1	
3項	ロ	飲食店						
4項		百貨店・マーケット等	8	1	3		5	
5項	イ	旅館・ホテル等	9	1	3	1	4	1
6項	イ	病院・診療所等	3		2		2	
16項	イ	複合用途防火対象物	11	3	2	1	1	
17項		重要文化財等		1				
合 計			41	6	13	2	13	1

## 表示マーク交付状況

平成26年度

市町別	鹿角市	小坂町	計
ホテル・旅館	3		3

## 甲種防火管理者再講習受講状況

(人)

年次	平成18年度～平成24年度	平成25年度	平成26年度	計
受講者数	61	7	6	74

※ 平成18年4月1日から収容人員が300人以上の特定防火対象物の防火管理者は5年ごとの再講習が義務付けられました。

## 住宅用火災警報器設置調査状況

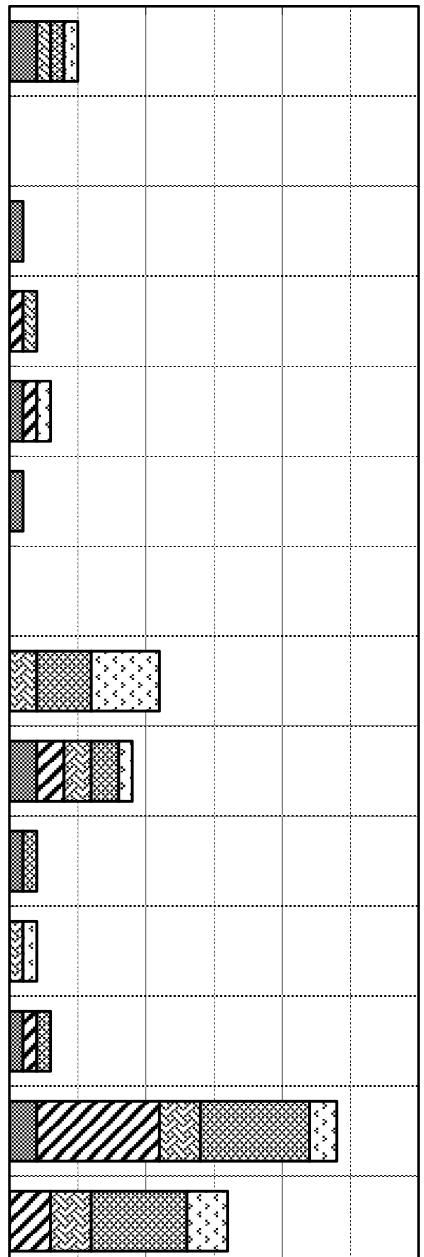
市町村別	総世帯数	設置世帯数	設置率(%)
			平成27年4月1日時点
鹿角市	12,916	10,358	80.2%
小坂町	2,416	1,951	80.8%
鹿角広域	15,332	12,311	80.3%

## 過去5年間の火災原因

(件)

	H22	H23	H24	H25	H26
たばこ	2		1	1	1
たき火					
火遊び	1				
コンロ		1	1		
ボイラー	1	1			1
こたつ	1				
風呂・かまど					
野焼きの不始末等			2	4	5
ストーブ	2	2	2	2	1
煙突・煙道	1			1	
電気系統			1		1
放火・放火疑い	1	1		1	
その他	2	9	3	8	2
不明・調査中		3	3	7	3
合計	11	17	13	24	14

■H22 □H23 ■H24 ■H25 □H26



0 10 20 30

## 月別火災状況

平成26年

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年	前年比	
		件	数	0	0	1	5	2	2	0	0	0	1	1	2	14	
火災種別 (件)	建物			1		1	1				1	1	1	6	24	-10	
	林野				4	1								5	12	-6	
	車両											1	1	1	5	-2	-4
	その他				1		1							2	0	2	
覚知別 (件)	119			1	2	1	2				1	1	1	9	16	-7	
	加入電話				3	1						1		5	4	1	
	その他													0	4	-4	
出動人員 (人)	職員				80	36	55				18	5	41	235	541	-306	
	団員				56	198	90						19	363	1,052	-689	
放水ポンプ (台)	自動車				10	1	5				1		2	19	46	-27	
	小型				1	1	2							4	31	-27	
焼損 棟数 (棟)	住宅	全 燃												0	3	-3	
		半 燃												0	0	0	
		部分燃				1								1	1	0	
		ぼ や		1							1		1	3	1	2	
	非住家	全 燃					1							1	4	-3	
		半 燃												0	2	-2	
		部分燃				1								1	7	-6	
		ぼ や									1		1	1	1	0	
り災世帯 (世帯)	全 損													0	3	-3	
	半 損													0	0	0	
	小 損			1		1					1		1	4	2	2	
り災人員 (人)				1		6					7		1	15	12	3	
焼損面積	建築物 (m <sup>2</sup> )					4	11							15	2,765	-2,750	
	表面積 (m <sup>2</sup> )			1			5				1	1		8	47	-39	
	林 野 (a)				85	1								86	1,328	-1,242	
	車 両 (台)												1	1	5	-4	
死 者 (人)														0	2	-2	
負 傷 者 (人)														0	3	-3	
損害見積額 (千円)	建 物			50		443	31				308	210		1,042	82,502	-81,460	
	収容物			5		114	1,085						6	1,210	21,717	-20,507	
	その他の					3,978							1,124	5,102	3,098	2,004	
	合 計	0	0	55	0	557	5,094	0	0	0	308	210	1,130	7,354	107,317	-99,963	

## 幼少年婦人防火クラブ加入団体

No.	少 年 消 防 ク ラ ブ	会員数(人)
1	湯瀬少年消防クラブ	13
2	茜町少年消防クラブ	23
3	館子供会	18
4	下モ平子供会	32
5	花輪北小学校	139
6	小枝指子供会	21
7	花輪小学校	463
8	松館子供会	20
9	松山子供会	11
10	西道口子供会	27
11	石鳥谷子供会	16
12	甚兵エ川原子供会	5
13	神田子供会	14
14	用野目子供会	28
15	谷内子供会	22
16	長牛・桃枝子供会	4
17	上台子供会	15
18	沢尻子供会	3
19	林崎・櫻内子供会	9
20	古川子供会	12
21	上山・水晶山子供会	15
22	小割沢子供会	2
23	夏井子供会	20
24	長嶺子供会	26
25	新田町3区子供会	21
26	舟場3区子供会	11
27	下川原子供会	24
28	長野子供会	4
29	市街地子供会	16
30	土深井子供会	5
31	三の丸子供会	27
32	瀬田石子供会	10
33	新田・砂派子供会	0
34	二本柳子供会	5
35	東町子供会	33
36	冠田・曲谷地子供会	11
合 計		1,125

平成27年4月1日現在

No.	幼 年 消 防 ク ラ ブ	会員数(人)
1	花輪にこにこ保育園幼年消防クラブ	99
2	柴内保育園幼年消防クラブ	16
3	平元保育園幼年消防クラブ	0
4	毛馬内保育園幼年消防クラブ	87
5	錦木保育園幼年消防クラブ	53
6	尾去沢保育園幼年消防クラブ	40
7	わかば保育園	37
8	大湯保育園幼年消防クラブ	37
9	花輪さくら保育園幼年消防クラブ	153
10	八幡平なかよしセンター幼年消防クラブ	64
合 計		586

No.	婦 人 防 火 ク ラ ブ	会員数(人)
1	湯瀬婦人防火クラブ	11
2	小枝指婦人防火クラブ	8
3	下モ平婦人防火クラブ	16
4	蟹沢婦人防火クラブ	23
5	小坂三区婦人防火クラブ	10
合 計		68

## 鹿角市幼少年婦人防火クラブ

加 入 団 体	49
会 員 数 (人)	1,779

## 活動状況

平成26年度

事 業 名	場 所	実 施 日	内 容
鹿角市幼少年婦人防火委員会総会	消防本部	6月23日	委員9名出席
第66回秋田県消防協会鹿角支部消防訓練大会	鹿角市役所駐車場	7月6日	受付等の協力参加、小学4年生放水訓練披露
平成26年度秋田県婦人防火クラブ連絡協議会	秋田県庁	8月1日	役員会に出席
平成26年度秋田県婦人防火研修会	秋田県庁	11月10日	婦人防火クラブ3団体6名が参加
秋の火災予防週間防火PR	毛馬内定期市場	11月7日	毛馬内幼少年消防クラブによる火災予防PR
消防出初め式	花輪市街地	1月4日	婦人防火クラブ2団体が参加
鹿角市婦人防火クラブ交流会	ホテル茅如荘	2月28日	幼少年婦人防火クラブ9名参加

# 救急



## 血糖測定とブドウ糖投与及び、心停止前輸液

鹿角消防では、平成26年4月15日より、救急救命士の救命処置が拡大されました。心肺停止前の重症患者を対象に救命率の向上と後遺症の軽減を目的として、次の行為が拡大されています。

- ①低血糖性の意識障害が疑われる患者に対して、血糖値の測定を行い、低血糖が確認された場合は、ブドウ糖溶液を投与します。
- ②心臓停止状態となる危険性がある患者や、重いものに長時間挟まれて血液のめぐりが悪くなっている患者に対し点滴を行います。

いずれの行為も救急救命士が所定の講習を修了し、医師の指示を電話で受けて、処置を行います。

平成26年実施件数

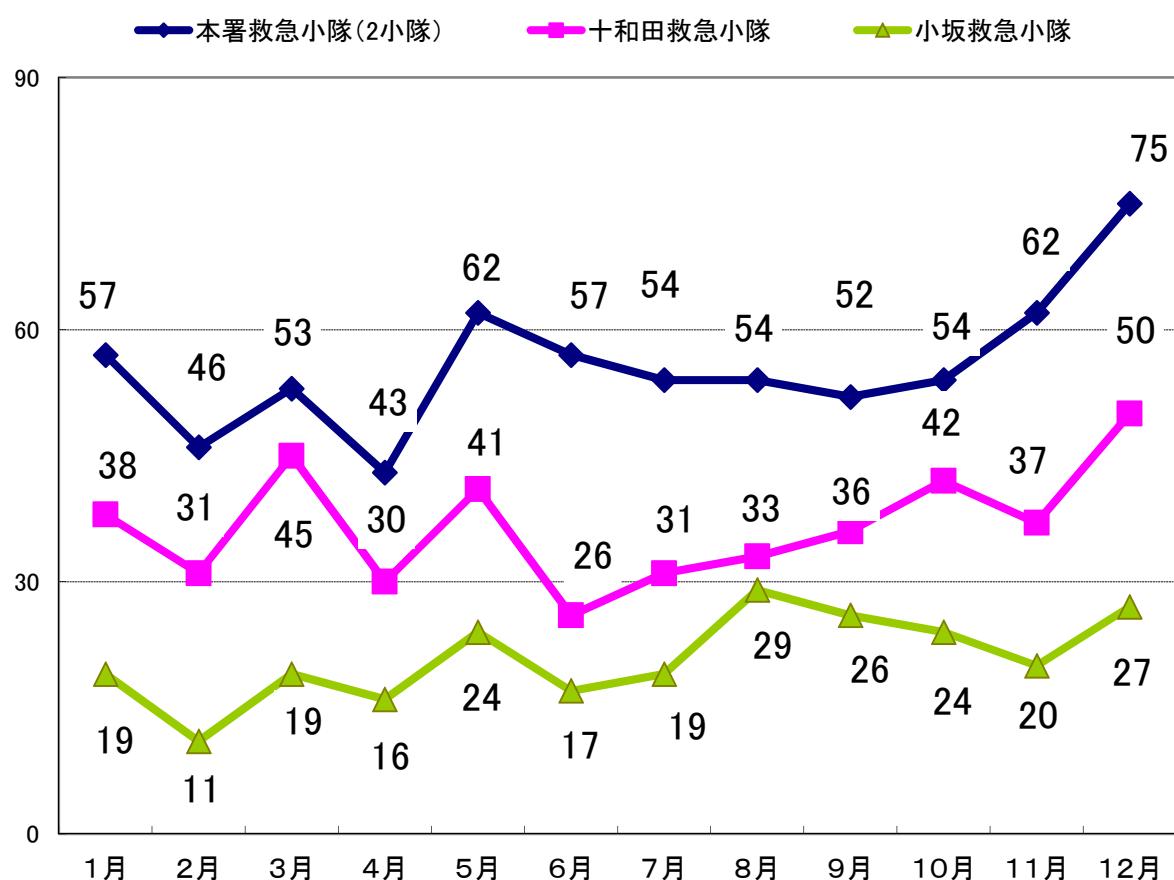
○血糖測定…30件    ○ブドウ糖溶液投与…5件    ○心停止前輸液…15件

## 救急出動状況

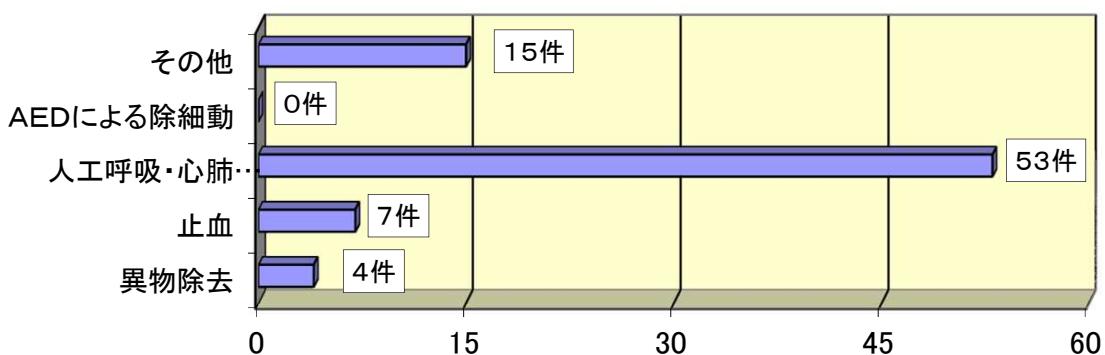
平成26年

救急出動件数	1,362件
搬送人員	1,272人
不搬送件数	106件
一日平均出動件数	3.7件
平均現場到着時間	9.3分

## 救急小隊別出動内訳



## バイスタンダーによる応急手当・救命処置数



# 月 別 救 急 活 動 状 況 調

(単位:件・人)

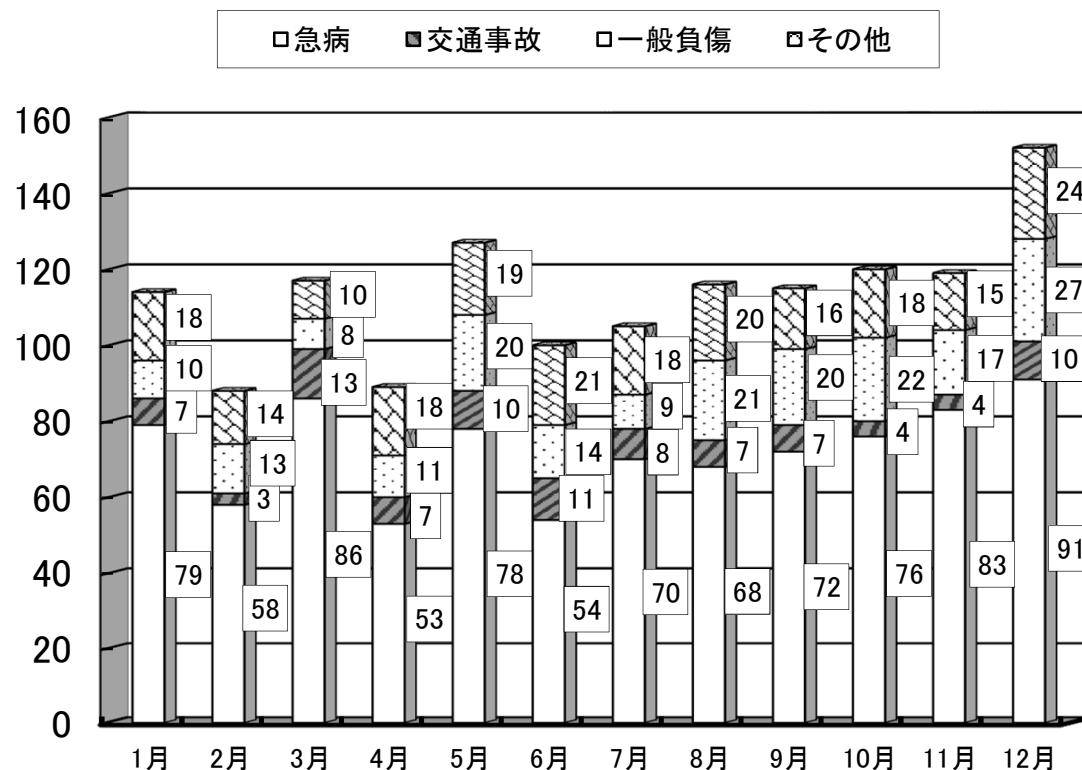
【平成26年 鹿角広域消防本部全救急隊】

月別	種別	合計	救急事故種別										その他		
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送
1月	出動件数	114				7	3	1	10			79	14		
	不搬送件数	7				3						4			
	搬送人員	107				4	3	1	10			75	14		
2月	出動件数	88				3		3	13			58	11		
	不搬送件数	12				3						9			
	搬送人員	76						3	13			49	11		
3月	出動件数	117				13			8		1	86	8		1
	不搬送件数	11				1			1		1	7			1
	搬送人員	108				14			7			79	8		
4月	出動件数	89	1			7	1		11	1	2	53	13		
	不搬送件数	7	1			2			1			3			
	搬送人員	85				7	1		10	2	2	50	13		
5月	出動件数	127	2			10	1	1	20		2	78	12		1
	不搬送件数	9	2			2			1			3			1
	搬送人員	118				8	1	1	19		2	75	12		
6月	出動件数	100	3			11		1	14		2	54	13		2
	不搬送件数	8	3								1	2			2
	搬送人員	95				14		1	14		1	52	13		
7月	出動件数	105			2	8	1	1	9	1	3	70	8	1	1
	不搬送件数	8			1	1					2	2	1		1
	搬送人員	99			1	9	1	1	9	2	1	68	7		
8月	出動件数	116				7	2	4	21		1	68	13		
	不搬送件数	11				1						9			
	搬送人員	107				8	2	4	20		1	59	13		
9月	出動件数	115				7		1	20		2	72	12	1	
	不搬送件数	6							1			5			
	搬送人員	109				8		1	19		2	67	12		
10月	出動件数	120	1			4	1	1	22		6	76	8		1
	不搬送件数	11	1			1					3	5			1
	搬送人員	109				3	1	1	22		3	71	8		
11月	出動件数	119				4	2		17	1		83	11		1
	不搬送件数	8							1			6			1
	搬送人員	112				5	2		16	1		77	11		
12月	出動件数	152	2			10	3	1	27	1	1	91	16		
	不搬送件数	8	2						1			5			
	搬送人員	147				13	3	1	26	1	1	86	16		
計	出動件数	1,362	9	0	2	91	14	14	192	4	20	868	139	2	0
	不搬送件数	106	9	0	1	14	0	0	7	0	7	60	1	0	0
	搬送人員	1,272	0	0	1	93	14	14	185	6	13	808	138	0	0

## 月別事故種別救急出動状況調

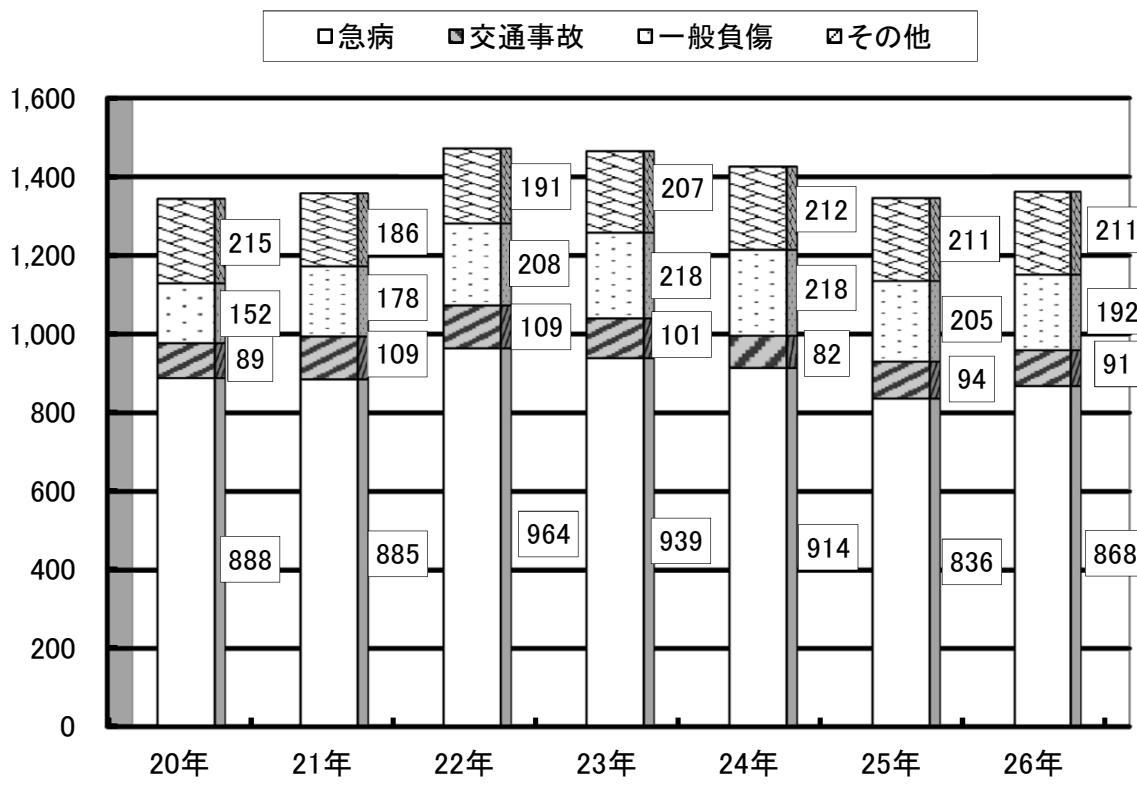
(単位:件)

平成26年



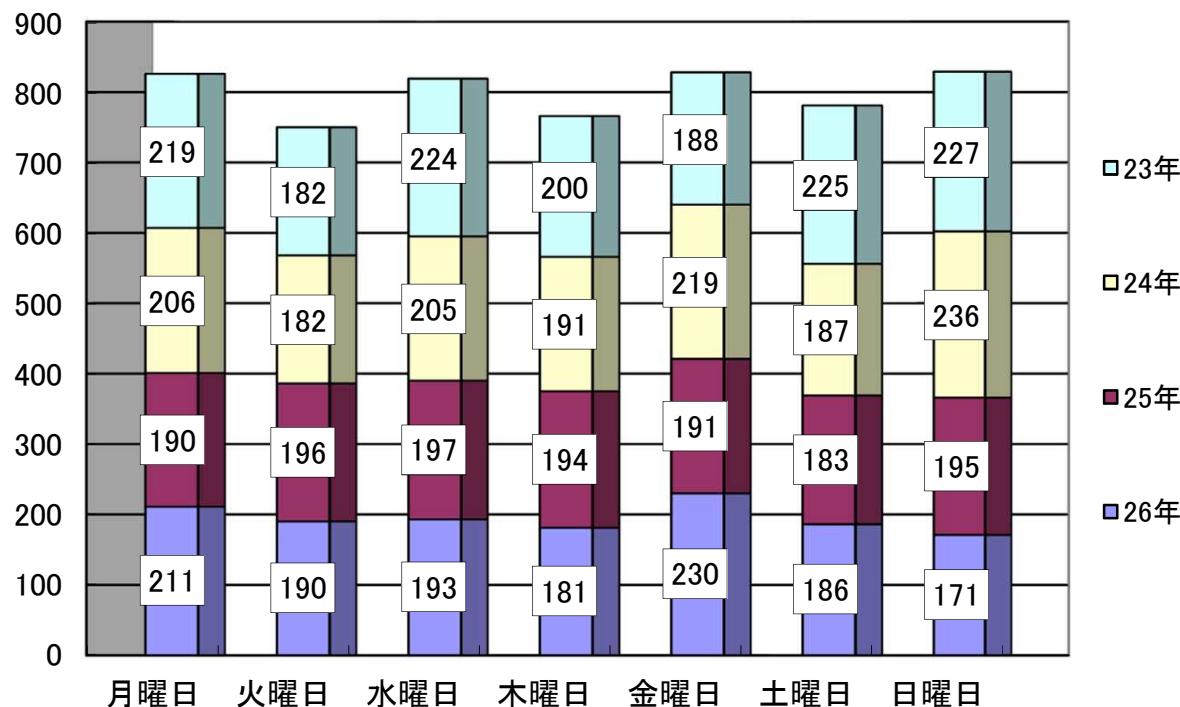
## 事故種別救急出動件数の推移（過去7年間）

(単位:件)



## 年別・曜日別出動状況(出動件数)

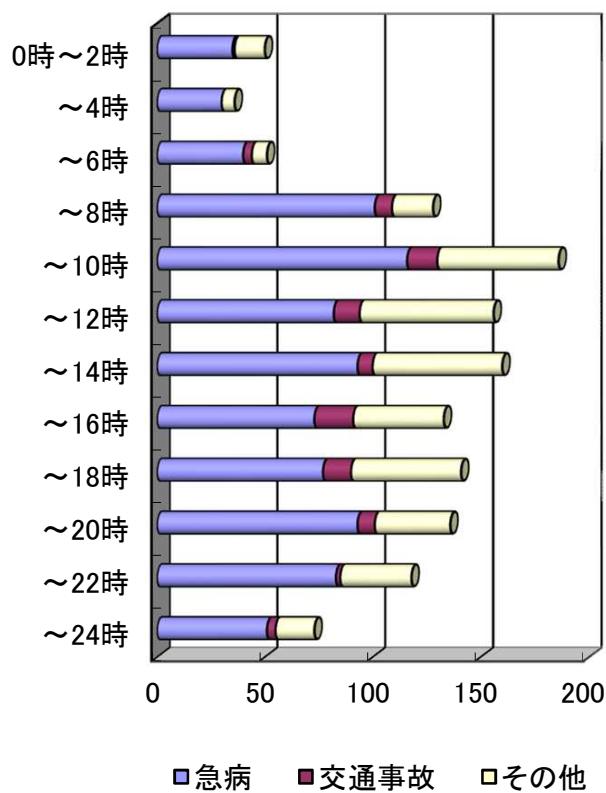
(単位：件)



## 事故種別・時間別・傷病者搬送状況

(単位：人)

平成26年

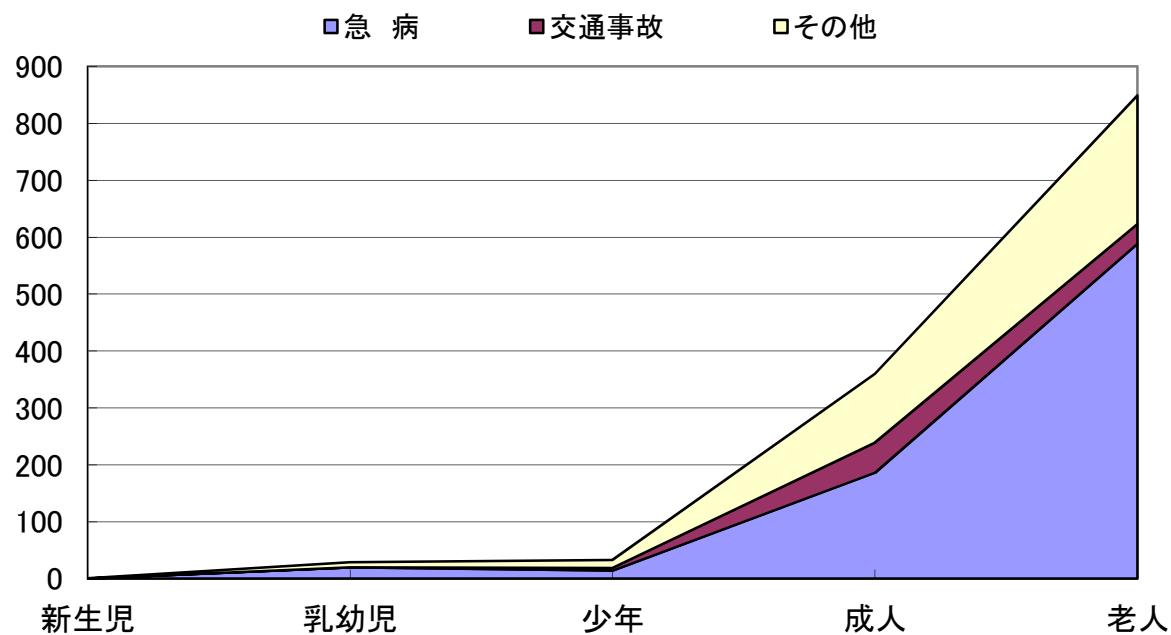


	急病	交通事故	その他
0時～2時	35	1	14
～4時	30	0	6
～6時	40	4	7
～8時	101	8	19
～10時	116	14	56
～12時	82	12	62
～14時	93	7	60
～16時	73	18	42
～18時	77	13	51
～20時	93	8	35
～22時	83	2	33
～24時	45	4	18
合計	868	91	403

## 事故種別・年齢別・傷病者搬送状況（搬送人員）

(単位：人)

平成26年

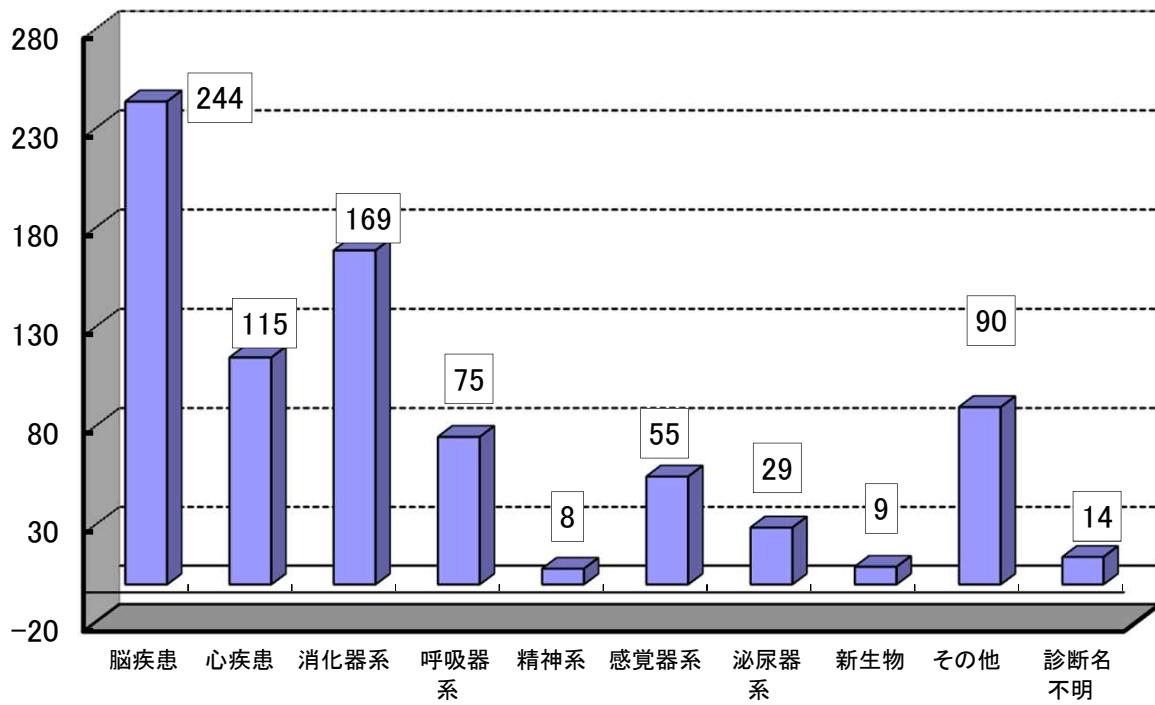


	新生児 0～28日未満	乳幼児 28日～7歳未満	少年 7～18歳未満	成人 18～65歳未満	老人 65歳以上
急性	0	20	14	186	588
交通事故	0	0	5	53	35
その他	1	9	14	121	226
合計	1	29	33	360	849

## 急病にかかる疾病別搬送人員調べ（搬送人員）

(単位：人)

平成26年

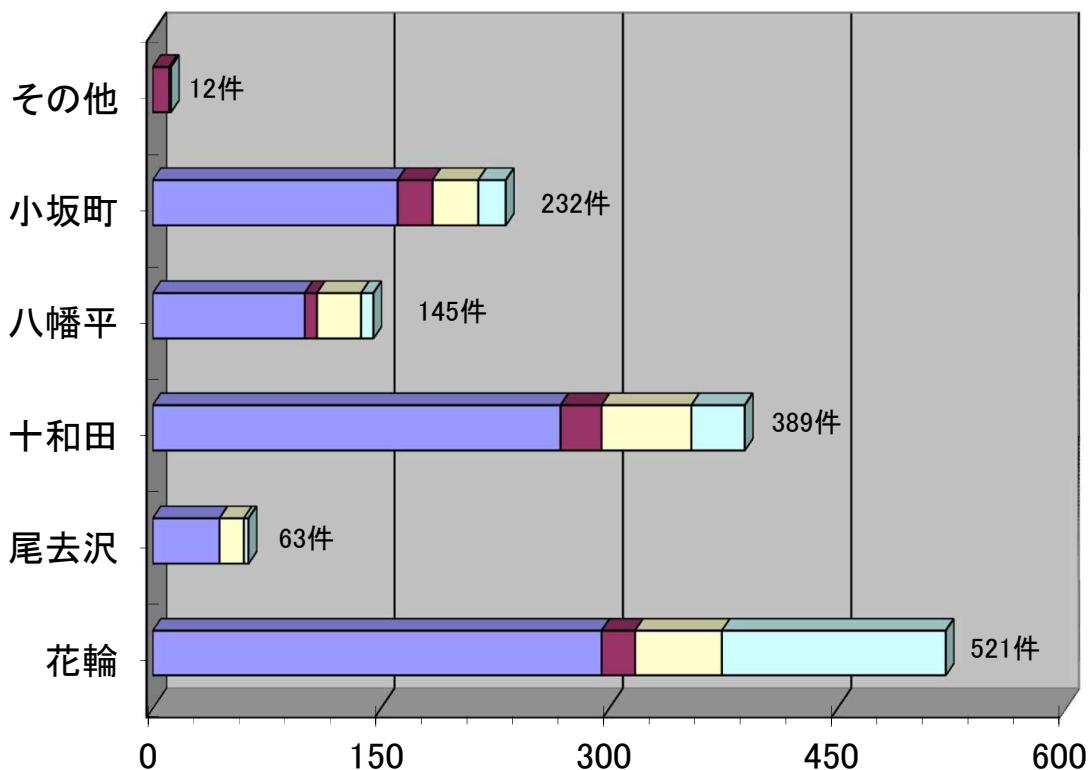


## 事故種別・地域別出動状況（出動件数）

(単位：件)

平成26年

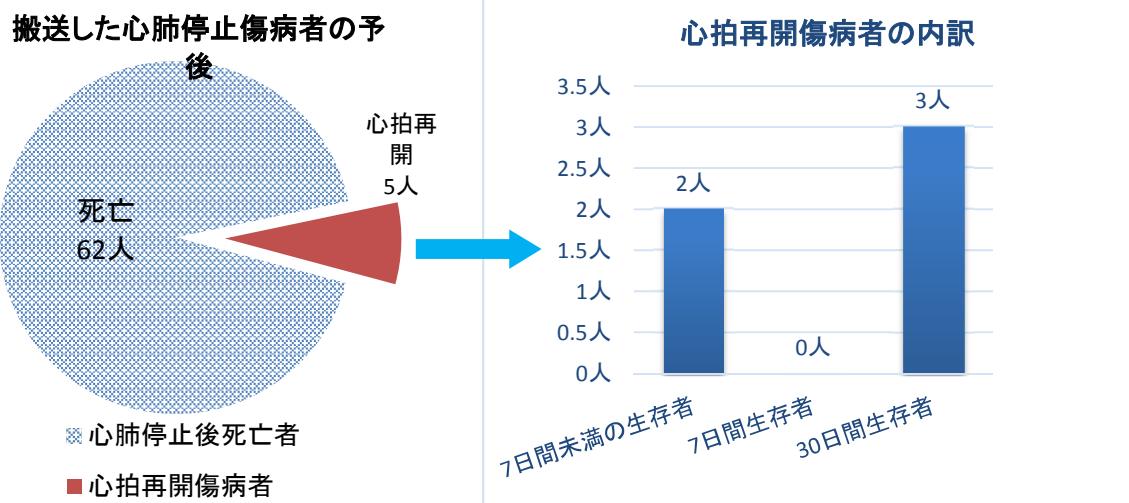
■急病 ■交通事故 □一般負傷 □その他



種別 地域	合計	救急事故種別										その他			
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
花輪	521	3	0	2	22	4	12	57	2	10	295	108	1	0	5
尾去沢	63	0	0	0	0	1	0	16	0	1	44	0	0	0	1
十和田	389	2	0	0	27	3	0	59	2	2	268	25	0	0	1
八幡平	145	0	0	0	8	1	2	29	0	4	100	0	1	0	0
小坂町	232	4	0	0	23	5	0	30	0	3	161	6	0	0	0
その他	12	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	1,362	9	0	2	91	14	14	192	4	20	868	139	2	0	7

## 救急蘇生指標

	平成24年	平成25年	平成26年
救急搬送人員	1,311人	1,245人	1,272人
搬送人員のうち心肺停止傷病者	66人 (5.0%)	70人 (5.6%)	67人 (5.3%)
心肺停止傷病者のうち心拍再開傷病者	6人 (9.1%)	7人 (10.0%)	5人 (7.5%)
心肺停止傷病者のうち7日間生存者	0人 (0.0%)	5人 (7.1%)	0人 (0.0%)
心肺停止傷病者のうち30日間生存者	2人 (3%)	3人 (4.3%)	3人 (4.5%)



心肺停止傷病者のうち目撃有り傷病者	21人 (31.8%)	28人 (40.0%)	22人 (32.8%)
目撃有り傷病者のうち心拍再開	4人 (19.0%)	6人 (21.4%)	3人 (13.6%)

## 特定行為実施件数

(%) は心肺停止傷病者に対して救急救命士が行った特定行為実施率

	平成24年	平成25年	平成26年
心肺停止傷病者	66人	70人	67人
器具を使用した気道確保 (内) 気管挿管	13件 (20%)	18件 (26%)	13件 (19%)
	2件 (3%)	3件 (4%)	3件 (4%)
末梢静脈路確保	26件 (39%)	36件 (51%)	23件 (34%)
薬剤投与	9件 (14%)	10件 (14%)	6件 (9%)
電気的除細動	7件 (11%)	5件 (7%)	3件 (4%)

## 救急救命士による救命処置領域人数

各科搬送人数

	平成24年	平成25年	平成26年
小児科領域の処置	40人	57人	52人
産婦人科領域の処置	3人	17人	13人
精神科領域の処置	18人	13人	11人

## ドクターヘリ要請事案件数調べ

( ) はドクターヘリによる搬送件数

	平成24年	平成25年	平成26年
急 病	0件 (0)	0件 (0)	1件 (0)
交通事故	3件 (2)	1件 (0)	5件 (3)
一般負傷	2件 (1)	2件 (2)	3件 (1)
労働災害	1件 (0)	0件 (0)	1件 (0)
その他	0件 (0)	0件 (0)	2件 (0)

## 各種実習・研修等

	平成24年	平成25年	平成26年
救急救命東京研修所 入校	0名	1名	0名
救急救命士就業前病院実習	1名	1名	2名
気管挿管病院実習	1名	1名	1名
救急隊員病院実習	3名	3名	3名

## 救急に関する各種教育プログラムの職員受講状況

平成27年4月現在

名 称	概 要	実施機関	職員受講人数
B L S	一次救命処置	日本ACLS協会 日本循環器学会 日本蘇生協議会	28人
B L Sインストラクターコース	BLSインストラクター養成	アメリカ心臓協会 日本蘇生協議会	2人
J P T E C	病院前外傷救護	日本救急医学会	19人
I T L S	病院前外傷救護	ITLSJAPAN	4人
I C L S	二次救命処置基礎	日本救急医学会	1人
P S L S	脳卒中病院前救護	日本臨床救急医学会	70人
M C L S	多数傷病者への医療対応トレーニングコース	日本集団災害医学会	1人
B D L S	標準災害教育コース	N D L S グローバルトレーニングセンター日本事務局	3人
E D L S	災害実践教育研修	救急災害研修機構	1人

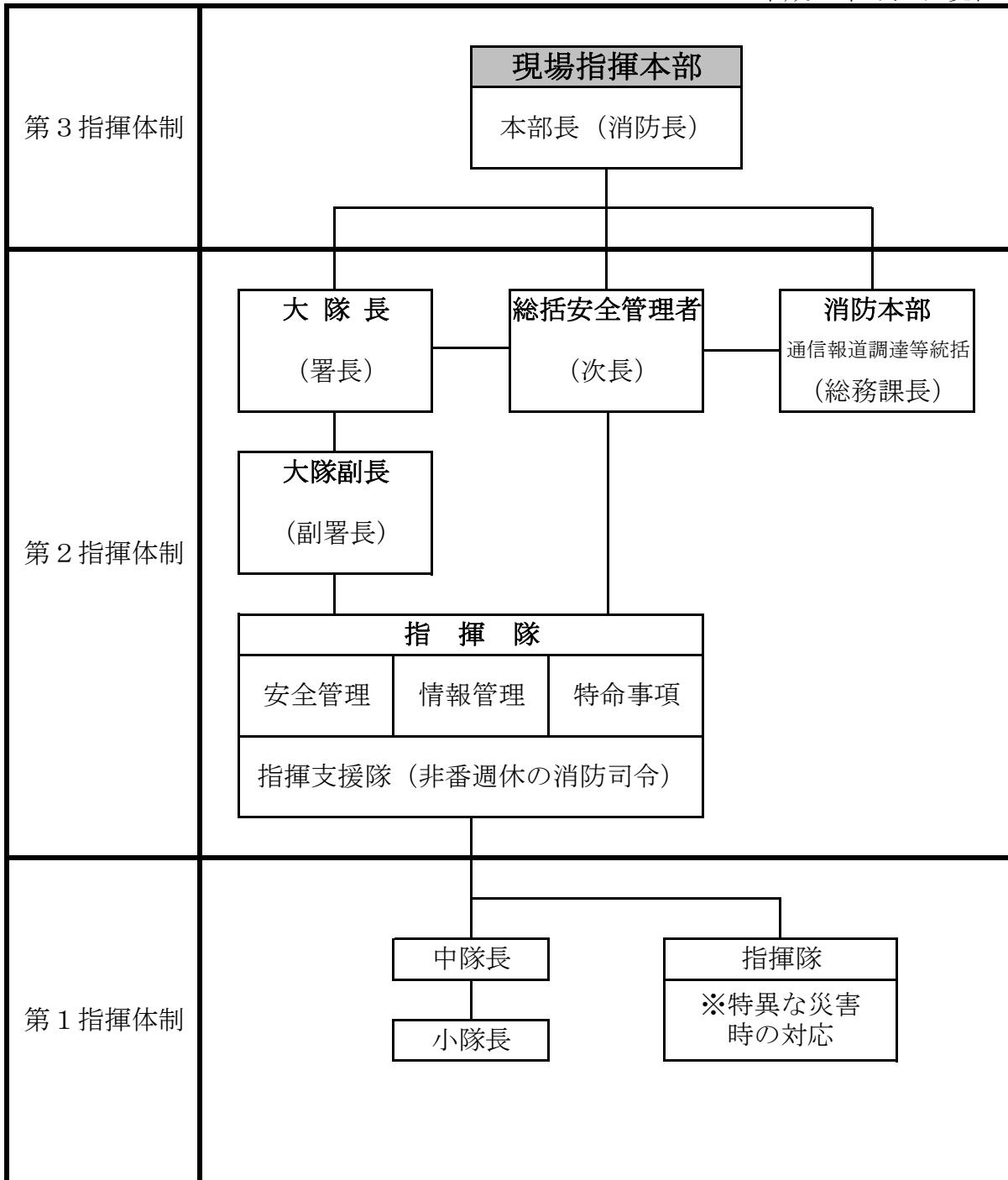
# 警防・救助



平成26年9月24日に、秋田県北部消防本部合同救助訓練が八峰町で実施されました。10月22、23日には北海道・東北ブロック緊急消防援助隊訓練が弘前市で実施され救助部隊が訓練しています。11月28日には、県建造物解体業協会との合同訓練が旧小坂町役場で実施されました。近年多発する大規模災害に対応するため、安全かつ迅速な活動を行うために必要な知識と技術を習得し、各機関が密接な連携を確立することを目的としています。

## 安全管理及び指揮体制

平成27年4月1日現在



第1指揮体制：通常の救急救助事案や警戒事案など、2個小隊以上が出場する場合は中隊長の指揮とする。

第2指揮体制：火災事案や2個中隊以上の救急救助事案などの場合は、大隊長（署長）の指揮とする。

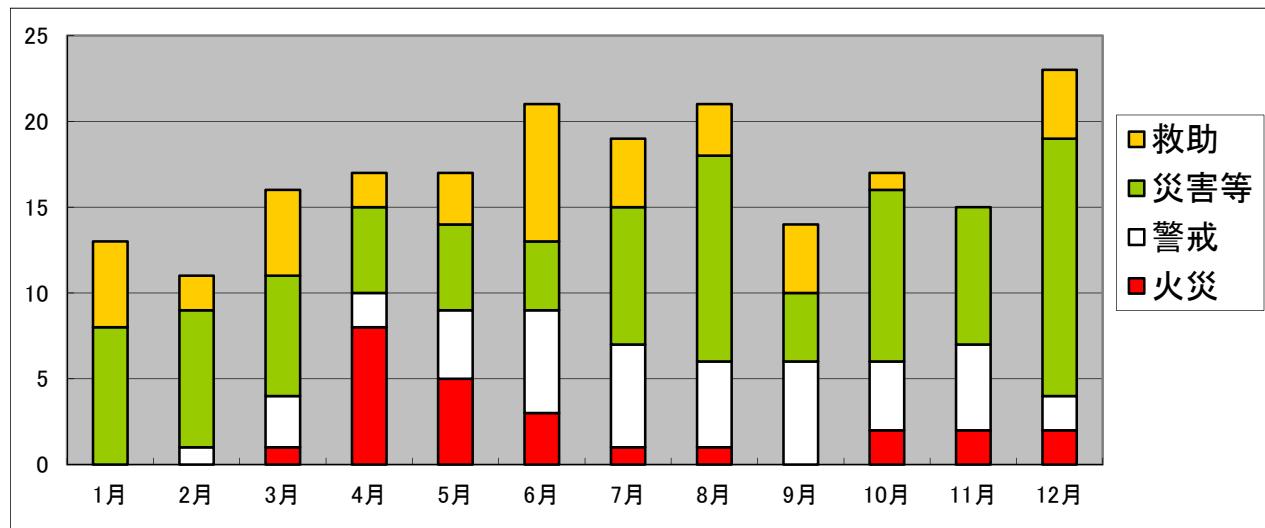
第3指揮体制：特異火災事案および大規模な救急救助事案などの場合は、本部長（消防長）の指揮とする。

## 警防活動状況

平成26年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
火災出動件数	建 物			1		1		1		1	1	1	7	
	林 野				5	3		1					9	
	車 両				1							1	2	
	その 他				2	1	2			1	1		7	
警 戒	危険物流出			2		2	2		4		1	3	15	
	ヘリコプター離着陸警戒		1	1	1	1	2	3		6	2	1	19	
	偵 察				1	1	2	3	1		1	1	10	
災 害 等	水 害								4		1		5	
	台 風												0	
	雪 害	2	3									6	11	
	その 他	6	5	7	5	5	4	8	8	4	9	8	78	
救 助	火 災												0	
	交通事故	4	1	5	2	2	3	1	1	4	1		25	
	水難事故					1		2	1				4	
	自然災害		1									1	2	
	機械による事故											1	1	
	搜 索						5						5	
	その 他	1						1	1			1	4	
合 計		13	11	16	17	17	21	19	21	14	17	15	23	204

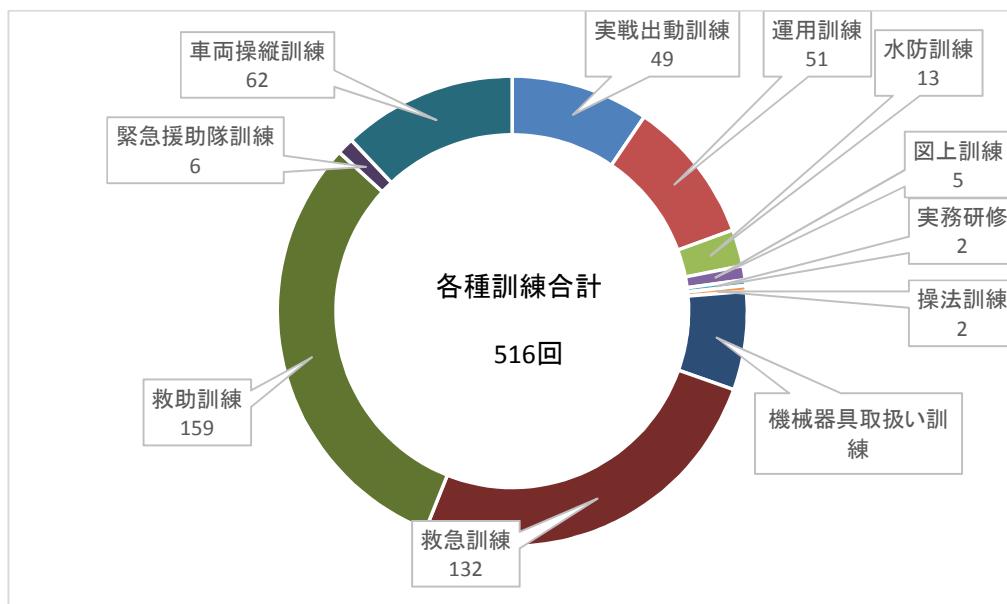
※ 上記の火災出動件数は火災統計上の件数とは一致しません。



## 各種訓練状況

平成26年

種別	回数(回)
実戦出動訓練	49
運用訓練	51
水防訓練	13
図上訓練	5
実務研修	2
操法訓練	2
機械器具取扱い訓練	35
救急訓練	132
救助訓練	159
緊急援助隊訓練	6
車両操縦訓練	62
合計	516



- 実戦出動訓練とは、火災を想定した実戦的な訓練です。
- 運用訓練とは、車両等の操作・構造・性能を熟知するための訓練です。
- 水防訓練とは、水災害に対処するための技術訓練です。
- 図上訓練とは、作戦・計画を考え現場を想定した訓練です。
- 操法訓練とは、基本動作を主とした規律・技術訓練です。
- 機械器具取扱い訓練とは、現場で使用する資機材を熟知する訓練です。
- 救急訓練とは、救急現場で必要とする知識・手技の向上訓練です。
- 救助訓練とは、救助資機材を使用した救助隊の訓練及び消防救助技術大会へ向けての訓練です。
- 緊急援助隊訓練とは、大規模災害等を想定した総合的な訓練です。
- 車両操縦訓練とは、機関員養成及び運転技術向上のための訓練です。

## 救助体制

平成27年4月1日現在

隊数		合計	専任救助隊数	兼任救助隊数
	省令第3条救助隊	1	0	1
隊員数		合計	救助科修了者	消防長認定者
	兼任救助隊員数	30	9	21
車数		合計	取得年月日	型式 メーカー 原動機の種類 取得方法
	救助工作車数	1	平成15年2月5日	II型 日本機械工業 ディーゼル 国庫補助

## 救助器具保有状況

平成27年4月1日現在

分類	名 称	消防本部 総務省 貸与	消防署	和田分署	小坂分署	省令別表 第1の必 要個数	省令別表 第2の必 要個数
			救助隊				
一般救助器具	かぎ付はしご	3		1	1	1	
	三連はしご	6		3	1	1	1
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤはしご	4		3			
	空気式救助マット	1			1		1
	救命索発射銃	1			1		1
	サバイバースリング又は救助用縛帶	5		1	2	1	1
	平担架	1			1		1
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	4			3	1	1
	油圧スプレッダー	4			2	2	1
	可搬ワインチ	4		1	1	1	1
	マンホール救助器具	1			1		1
	マット型空気ジャッキ	3			3		1
	大型油圧スプレッダー	5		1	2	1	1
切断用器具	油圧切断機	3			2	1	1
	エンジンカッター	3			1	1	1
	ガス溶断器	2		1	1		1
	チェーンソー	7		4	1	1	1
	鉄線カッター	0					1
	空気鋸	2		1		1	1
	大型油圧切断機	6		1	3	1	1
破壊用器具	空気切断機	1		1			1
	万能斧	6		3	1	1	2
	ハンマー	7		2	2	1	1
	携帯用コンクリート破壊器具	1			1		1
	削岩機	1			1		1
検知・測定用器具	ハンマドリル	2			2		1
	可燃性ガス測定器	1			1		1
	有毒ガス測定器	2			2		1
	酸素濃度測定器	1			1		1
	放射線測定器	8	8	8			1

## 救助器具保有状況

平成27年4月1日現在

分類	名称	消防本部		消防署		十和田分署	小坂分署	省令別表第1の必要個数	省令別表第2の必要個数
		総務省貸与		救助隊					
呼吸保護用器具	空気呼吸器	29		15	5	5	4	5	
	空気補充用ボンベ	2		2				1	
	防塵マスク	9	9	9					5
	送排風機	2		1	1				1
隊員保護用器具	耐電手袋	2			2			5	
	耐電衣	2			2				2
	耐電ズボン	2			2				2
	耐電長靴	2			2				2
	防塵メガネ	12		4	4	4		5	
	携帯警報器	17		13		4		5	
	防毒マスク	20	20	14		3	3	5	
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	5		5				2	
	陽圧式化学防護服	5		5				5	
	耐熱服	4		4				2	
除染用器具	個人線量計	21	21	21				2	
	特殊ヘルメット	2			2				2
水難・山岳用器具	除染シャワー	1	1	1				1	
	除染剤散布器	2	2	2				2	
	救命胴衣	26		5	5	12	4	5	
	救命浮環	4			2	1	1	10	
その他の救助器具	救命ボート	4		1	1	1	1	1	
	バスケット担架	1			1			1	
	投光器一式	9		4	1	2	2	1	
	携帯投光器	10		9	1			5	
	携帯拡声器	13		5	2	3	3	2	
	応急処置用セット	14		8	1	2	3	1	
	緩降器	1			1				1
	ロープ升降機	2			2				1
	発電機	12		6	1	2	3		1

## 救助隊の訓練状況

平成26年

訓練種別		実施延回数		実施延人員		実施延時間	
		回	名	回	名	時間	
	体力練成訓練	134	回	1,844	名	430	時間
	ロープ基本・応用訓練	139	回	2,169	名	367	時間
	検索・救助訓練	120	回	1,947	名	334.5	時間
	各種救助器具取扱訓練	31	回	148	名	49.5	時間
	各種救助事象想定訓練	34	回	215	名	88	時間
	その他の訓練	7	回	85	名	10	時間

## 緊急消防援助隊 出動履歴

災害名	派遣先	派遣期間	派遣隊		隊数	人員	
平成20年(2008年) 岩手・宮城内陸地震	宮城県 (栗原市)	平成20年 6月14日 ～平成20年 6月18日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
					後方支援隊	1 隊	2 名
岩手県沿岸北部を 震源とする地震	岩手県 (活動無し)	平成20年 7月24日 ～平成20年 7月25日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
					後方支援隊	1 隊	2 名
平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震  「東日本大震災」	岩手県 (宮古市)	平成23年 3月11日 ～平成23年 3月15日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
		平成23年 3月12日 ～平成23年 3月15日			後方支援隊	1 隊	2 名
		平成23年 3月15日 ～平成23年 3月19日		二次	消火隊	1 隊	4 名
		平成23年 3月19日 ～平成23年 3月23日		三次	救助隊	1 隊	5 名
		平成23年 3月23日 ～平成23年 3月27日			救急隊	1 隊	3 名
		平成23年 3月27日 ～平成23年 3月31日			後方支援隊	1 隊	2 名
		平成23年 3月31日 ～平成23年 4月 4日		四次	救助隊	1 隆	5 名
					救急隊	1 隆	3 名
	宮城県 (登米市)	平成23年 4月25日 ～平成23年 4月28日	秋田県隊 第2派遣	五次	後方支援隊	1 隆	2 名
				六次	救助隊	1 隆	3 名
					救急隊	1 隆	3 名
				七次	後方支援隊	1 隆	2 名
東日本大震災への派遣合計					17 隊	51 名	

## 緊急消防援助隊 秋田県隊登録車両

平成27年4月1日現在

車両区分			所属	国庫補助	緊援隊登録年	対空表示	NBC登録
消防隊	化学消防ポンプ車	II型	消防署	災害対応特殊化学 消防ポンプ自動車II型	平成20年	秋田化2	—
	水槽付消防ポンプ車	II型	小坂分署	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ自動車II型	平成23年	秋田Pかづの	—
救助隊	救助工作車	II型	消防署	救助工作車II型	平成15年	秋田R4	B C
救急隊	高規格救急車		消防署	災害対応特殊 救急自動車	平成20年	秋田A15	—
後方支援	資機材搬送車	資機材 搬送車	消防署	—	平成25年	秋田鹿角搬送	—

## 緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練出動開催地

年度	開催地	訓練隊	訓練内容
平成12年	秋田県秋田市	消防隊	危険物火災対応訓練
平成18年	青森県八戸市	救助隊	多重衝突事故救出救護訓練 野営訓練
平成20年	秋田県大仙市	特殊災害支援隊 及び消防隊	野営訓練、特殊(BC)災害救出救護訓練 及び遠距離送水・延焼阻止線設定訓練
平成21年	山形県鶴岡市	救助隊	野営訓練及び多重損壊建物救出救護訓練
平成25年	北海道苫小牧市	救急隊	5階建物座屈救助・救急訓練 野営訓練
平成26年	青森県弘前市	救助隊及び 後方支援小隊	野営訓練・都市型災害捜索救助訓練(U S A R訓練) 土砂災害救出訓練

# 通信

## 消防救急デジタル無線基地局



【小坂基地局】



【坂比平基地局】



【水晶山基地局】

平成27年7月27日から新庁舎で高機能通信指令センターが運用され、消防無線もデジタル無線へ移行となります。

## 災害情報メール配信

### 鹿角市・小坂町メール配信サービス

防災情報をはじめ、気象警報や火災事故・防犯・農林業・学校などに関する情報、市・町のイベント情報やお知らせ情報を配信します。

鹿角市・小坂町メール配信サービスの利用を希望される方は、登録が必要です。  
下記のメールアドレスへ空メールを送信して下さい。

鹿角市 e-kazuno@xpressmail.jp  
小坂町 e-kosaka@xpressmail.jp



鹿角市用QRコード 小坂町用QRコード

## 気象状況・極値

平成26年

観測地点 秋田県鹿角市花輪字高井田64番地2 鹿角広域行政組合消防署  
 緯度 北緯40度10分04秒  
 経度 東経140度47分20秒  
 標高 139.2m

### 〈気象状況〉

要素		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計	年平均
気温°C	最高気温	26年	0.7	1.6	5.5	15.2	21.4	26.8	28.8	27.1	24.1	16.9	10.9	1.8		15.1
		平年値	0.7	2.1	6.1	14.2	19.9	24.2	27.1	28.9	24.0	17.7	10.2	3.7		14.9
	最低気温	26年	-6.8	-5.9	-2.9	1.1	9.2	16.0	18.7	19.6	12.9	6.0	1.6	-4.4		5.4
		平年値	-6.8	-6.0	-3.3	2.3	8.0	13.5	17.7	19.0	13.8	6.6	1.0	-3.3		5.2
	平均気温	26年	-2.9	-2.2	1.2	7.8	14.8	20.7	23.3	22.9	17.8	10.8	5.8	-1.3		9.9
		平年値	-2.6	-2.0	1.3	7.9	13.8	18.6	22.0	23.6	18.0	11.5	5.2	0.2		9.8
日照時間(時間)			76.0	101.5	156.7	239.8	216.6	186.3	215.1	126.0	206.5	159.9	99.3	27.3	1,811.0	150.9
降水量(mm)			106.5	48.5	104.0	17.5	52.0	112.0	147.5	370.0	54.5	165.0	125.5	217.0	1,520.0	126.7
降雪量(cm)			189	112	93	0	0	0	0	0	0	0	6	271	671	55.9
平均湿度(%)			80	77	76	62	70	74	77	86	78	82	82	90		77.8
平均風速(m/s)			1.7	1.5	1.6	1.8	1.7	1.2	1.1	0.8	0.9	0.9	1.1	1.3	15.6	1.3
最多風向			W	W	S	S	SSW	S	S	SSW	S	NNE	SW	S		
大気現象(日)	霜														0	
	雷											1			1	
	霧	4									1	9	3	1	18	
	雨	7	2	7	3	14	13	9	16	8	12	9	4	104		
	雹(ヒョウ)	1												1		
	雪	24	17	15	3								4	25	88	

○ 年平均は、気象庁の観測値に基づき、昭和55年から平成22年まで(30年間)の平均値です

○ 降雨日数は、0.5mm以上を観測した日数です

注\* 12月で除しております

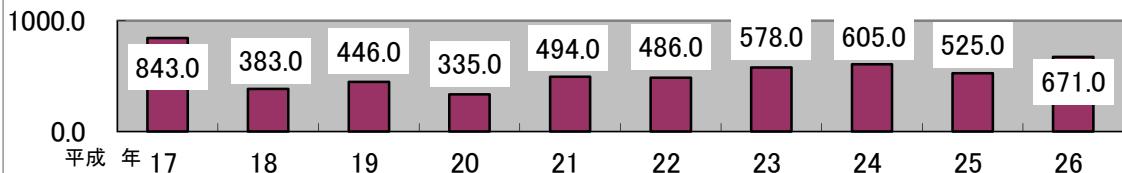
### 〈極値〉

最高気温	6月3日	34.9 °C
最低気温	12月27日	-14.8 °C
最高気温30°C以上の日数(真夏日)		26 日
最高気温-0.1°C以下の日数(真冬日)		35 日
最低気温-0.1°C以下の日数(冬日)		135 日
最低気温-10°C以下の日数		9 日
最多降雨 1時間	8月15日 12時～13時	29.5 mm
最多降雨 24時間	7月10日	78.0 mm
最深降雪	1月2日 12月7日 12月18日	25.0 cm
最深積雪	12月23日	85.0 cm
最多日照日	6月2日	13.2 時間
不日照日	(年間日数)	42 日
最大日平均風速	12月17日	5.1 m/s
最大瞬間風速	12月17日	24.9 m/s
最多風向	S	96 日

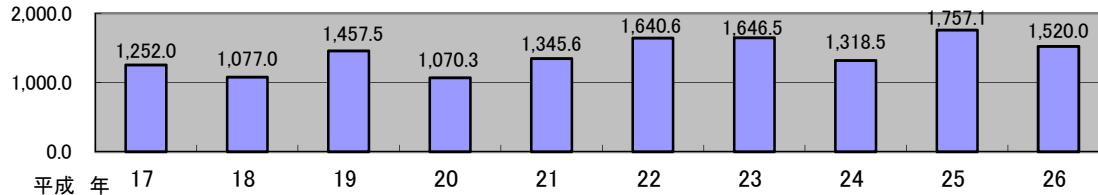
## 過去10年間の気象の推移

平成 年 要 素 \	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
年平均°C	平均気温	9.8	10.0	10.2	10.3	10.0	10.5	9.8	10.0	9.9	9.9
	最高気温	14.5	15.2	15.4	15.6	15.2	15.4	14.5	15.1	14.6	15.1
	最低気温	5.6	5.7	5.8	5.9	5.4	6.3	5.5	5.6	5.7	5.4
極 気 温 °C	最高気温	34.8	36.5	37.4	33.5	34.6	34.7	34.4	35.1	34.5	34.9
	最低気温	-11.6	-15.7	-9.3	-13.6	-14.7	-12.4	-15.6	-16.0	-12.5	-14.8
平均湿度(%)	72.0	71.3	69.7	71.8	72.9	71.3	69.0	71.5	87.4	77.8	
平均風速(m/s)	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.3	
総 日 照 時 間 (h)	1,741.2	1,669.5	1,776.7	1,890.0	1,768.5	1,686.8	1,726.5	1,834.6	1,635.1	1,811.0	
降水量 (mm)	年総量	1,252.0	1,077.0	1,457.5	1,070.3	1,345.6	1,640.6	1,646.5	1,318.5	1,757.1	1,520.0
	一日最多	63.5	90.0	161.5	39.5	21.5	63.5	73.0	125.0	154.0	78.0
降雪量 (cm)	年総量	843.0	383.0	446.0	335.0	494.0	486.0	578.0	605.0	525.0	671.0
	一日最多	40.0	24.0	30.0	40.0	32.0	35.0	25.0	30.0	25.0	25.0
	最深積雪量	100.0	100.0	55.0	45.0	67.0	82.0	105.0	86.0	105.0	85.0
降雪日数(日)	104	81	78	65	71	57	78	95	86	88	
初雪(月 日)	11月 15日	11月 29日	11月 16日	11月 19日	11月 2日	10月 26日	11月 16日	11月 18日	11月 11日	11月 13日	
今冬根雪(月 日)	12月 3日	H19.1.11	H19.12.3	H20.12.27	H21.12.7	H22.12.24	H23.12.16	H24.12.7	H25.12.12	H26.12.1	
雪消え日(根雪)		H18.3.19	H19.3.28	H20.3.14	H21.3.29	H22.3.30	H23.3.30	H24.4.10	H25.3.29	H26.3.29	

年間降雪総量の推移(cm)



年間降水総量の推移(mm)



※ 各年、1月～12月の統計です

※ 降雪量の値は、寒候期(前年秋から当年春)の統計ではありません

## 気象観測開始(昭和35年10月1日)からの気象極値

- ・最も高い気温を観測したとき
  - ・最も低い気温を観測したとき
  - ・最も強い風が吹いたとき
  - ・1時間に最も多く雨が降ったとき
  - ・1日(24時間)に最も多く雨が降ったとき
  - ・1日(24時間)に最も多く雪が降ったとき
  - ・最も多く雪が積もったとき
- |            |          |
|------------|----------|
| 平成12年7月31日 | 38.2 °C  |
| 昭和42年2月12日 | -19.8 °C |
| 平成16年9月8日  | 34.6 m/s |
| 平成19年9月17日 | 42.0 mm  |
| 平成19年9月17日 | 161.5 mm |
| 平成3年1月4日   | 53.0 cm  |
| 昭和49年2月12日 | 130.0 cm |
| 昭和49年2月14日 | 130.0 cm |

## 119番・専用回線着信状況

期間:平成26年1月～12月

【単位:件】

種 別	件 数	うち携帯電話
火 災	21	12
救急・救助	989	257
その他災害	22	7
問い合わせ	83	29
いたずら	11	5
かけ違い	87	39
通 報 訓 練	223	13
携帯電話119番転送	1	1
東北自動車道管制室	19	0
試 験	176	21
合 計	1,632	384

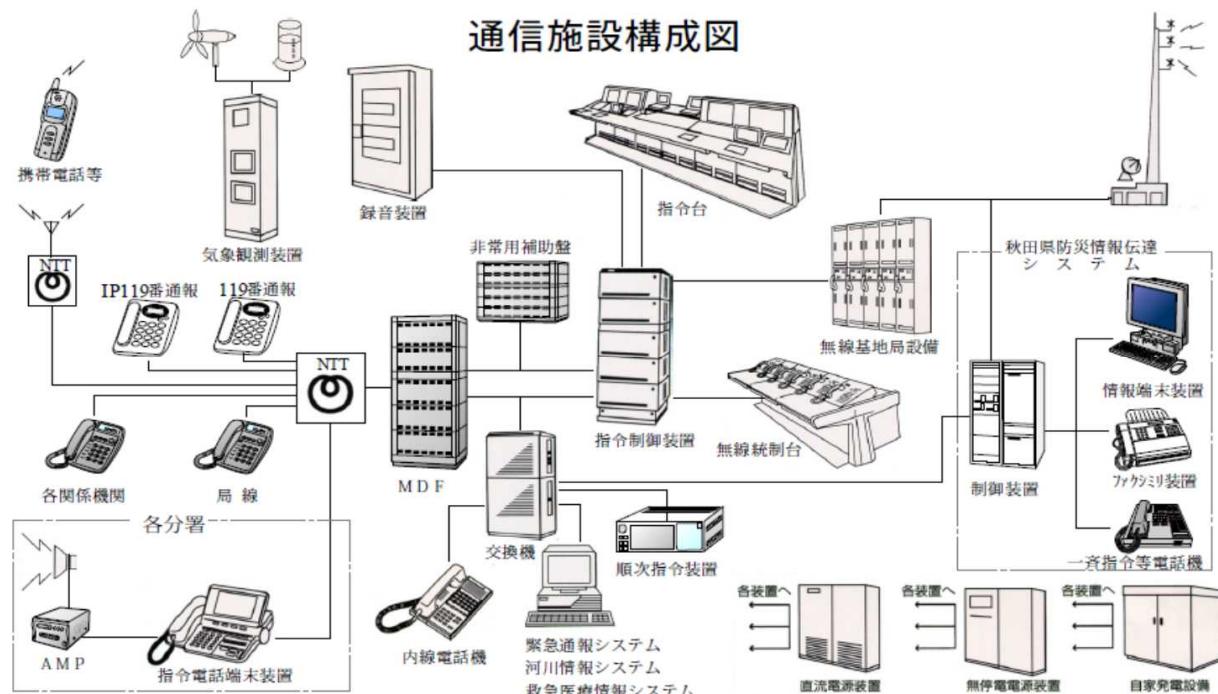
## 災害情報配信システム(メール配信)登録状況

平成27年4月1日現在

区 分	登録者(人)
消防職員	87
鹿角市消防団	消防団本部
	花輪地区団
	尾去沢地区団
	八幡平地区団
	十和田地区団
小坂町消防団	83
官公庁（市、町、議員等）	365
一 般	5,877
合 計	6,861

現在のメール配信システムでの登録状況です。平成23年11月以前のメール配信システムの登録状況は反映されておりません。

## 消防緊急通信指令施設等の機器構成



主な装置名	型式／方式	機種	備考
指令装置 指令台 指揮台	I型 複座式	NEFAST-1000EX	1台
指令制御装置 指令制御装置IPADP	アナログ制御 デジタル制御		IPデジタルアダプター
非常用指令設備 長時間録音装置 署所端末装置	ADA方式	VR-700	1台 HDD内蔵 2分署
非常電源装置 順次指令装置	オートダイヤル	ARS-702 TOA	1台 1式 1式 2分署
放送設備 無線受信装置			
無線統制台	ハンドセット		4波実装（1CH～5CH、救急波実装）
携帯・IP位置情報システム	ビデオネスパーソコン		1式
非常電源装置	2.7kVA		エンジン式
気象観測装置		OKSAM-2000	1式
データメンテナンス装置	ビデオネスパーソコン		1式
有線設備 構内交換機	デジタル制御	APEX-3600i	1式
県総合防災システム 救急医療システム			1式 1式
事務用ファクシミリ			1式 各署所に設置
災害情報配信システム 高齢者緊急通報システム	ビデオネスパーソコン		1式 1式

## 無線機保有一覧

消防本部・消防署

平成27年4月1日現在

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備 考
1	固定／基地局	鹿消本部	10W	第1装置
2	固定／基地局	鹿消本部	10W	第2装置
3	固定／基地局	鹿消本部	10W	第3装置
4	基地局	鹿消本部	10W	第4装置
5	移動局	鹿消指揮1	10W	指揮車第1装置
6	移動局	鹿消広報1	10W	広報車
7	移動局	鹿消本部広報1	10W	本部広報車
8	移動局	鹿消本部広報2	10W	消防団広報車
9	移動局	鹿消ポンプ1	10W	ポンプ1号車
10	移動局	鹿消ポンプ2	10W	ポンプ2号車
11	移動局	鹿消救急1	10W	救急1号車
12	移動局	鹿消救急2	10W	救急2号車
13	移動局	鹿消救助1	10W	救助工作車
14	移動局	鹿消化学1	10W	化学車
15	移動局	鹿消搬送1	10W	資器材搬送車
16	移動局	鹿消水槽1	10W	水槽車
17	移動局	鹿消17・18	10W	18は指揮車第2装置
18	移動局	鹿消10～16・19～28	5W	携帯無線

十和田分署

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備 考
1	固定／基地局	鹿消十和田	10W	第1装置 CH切替式
2	固定／基地局	鹿消十和田	10W	第2装置 CH切替式
3	移動局	鹿消十和田救急1	10W	救急車
4	移動局	鹿消十和田ポンプ1	10W	ポンプ車
5	移動局	鹿消十和田広報1	10W	広報車
6	移動局	鹿消十和田10～16	5W	携帯無線

小坂分署

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備 考
1	固定／基地局	鹿消小坂	10W	第1装置 CH切替式
2	固定／基地局	鹿消小坂	10W	第2装置 CH切替式
3	基地局	鹿消北坂梨	10W	坂梨ソネル ネクスコ管理
4	基地局	鹿消南坂梨	10W	坂梨ソネル ネクスコ管理
5	移動局	鹿消小坂ポンプ1	10W	ポンプ車
6	移動局	鹿消小坂広報1	10W	広報車
7	移動局	鹿消小坂救急1	10W	救急車
8	移動局	鹿消小坂10～16・55	5W・1W	携帯無線 55は1W

# 消防団



## 鹿角市（かづのし）

鹿角市の「かづの」を図案化したもので、融和団結、円満平和及び伸びゆく鹿角を表したものです。

## 小坂町（こさかまち）

小坂町出身の故福田豊四郎画伯の案を図案化したもので、中央の星形は、小坂の「小」をイメージし、周辺の途切れたリングは、鹿角郡の「鹿角」の鹿の角を表した

市の花 ベニヤマザクラ  
市の木 ナナカマド  
市の鳥 声良鶲

町の花 アカシア  
町の木 ベニヤマザクラ  
町の魚 ヒメマス



女性消防団員による  
「カラー ガード 隊」

## 消防団協力事業所パレード



## 消防団装備・階級別実員

《鹿角市消防団》

定数:892人

平成27年4月1日現在

区分 所属	地区	団員										機械			施設		
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員	計	消防ポンプ車	自走ポンプ車	小型活動車	積載車	器具置場数	ホース乾燥塔	ホース
消防団本部		1	4					※2		※14		21	1				
第1分団	花輪			1	1	2	4	26	※1		35	2			2	2	85
第2分団				1	1	2	5	32			41		5 (1)	3	5	5	171
第3分団				1	1	2	7	46			57	1	5	3	6	5	161
第4分団				1	1	2	6	45			55		6	5 (1)	6	6	167
第5分団	尾去沢			1	1	1	5	24			32	1	2		3	3	108
第6分団				1	1	2	6	25		5	40	1	3	1	4	4	129
第7分団	八幡平			1	1	2	9	55			68	1	5	2 (1)	5	4	212
第8分団				1	1	2	6	45			55		6	2	6	6	134
第9分団				1	1	2	8	44			56	2	2		4	3	158
第10分団				1	1	2	6	44		5	59		5	2	5	5	143
第11分団				1	1	2	8	45		4	61	1	6	1	7	7	198
第12分団	十和田			1	1	4	6	32			44	1	4 (1)	4	4	4	149
第13分団				1	1	1	4	13			20		3	1	4	4	77
第14分団				1	1	3	7	27	※8	7	54	1	5	2	6	6	215
第15分団				1	1	3	5	25			35		5	3 (1)	5	5	133
第16分団				1	1	3	9	42		5	61	2	5	1	6	6	181
第17分団				1	1	3	7	25		5	42		7	3	7	7	141
合 計		1	4	17	17	38	110	595	※23	31	836	13	1	74 (2)	33 (3)	85	82 2,562

※女性団員数

( )は全自動型 < >は軽車両

《小坂町消防団》

定数:170人

平成27年4月1日現在

区分 所属	地区	団員										機械			施設		
		団長	副団長	分団長	副分団長	本部長	副本部長	班長	副班長	団員	計	消防ポンプ車	自走ポンプ車	小型活動車	積載車	器具置場数	ホース乾燥塔
消防団本部		1	1			1	1	1		※1	6						
第1分団				1	1			4	4	26	36		4	2 (2)	4	4	68
第2分団				1	1			4	4	17	27		1	3 (2)	4	4	54
第3分団				1	1			3	3	15	23		1	1	1	1	29
第4分団				1	1			4	4	30	40		1	3 (3)	4	4	107
第5分団				1	1			5	5	16	28		5	3 (2)	5	5	70
合 計		1	1	5	5	1	1	21	20	105	160	3	16	5 (9)	18	18	328

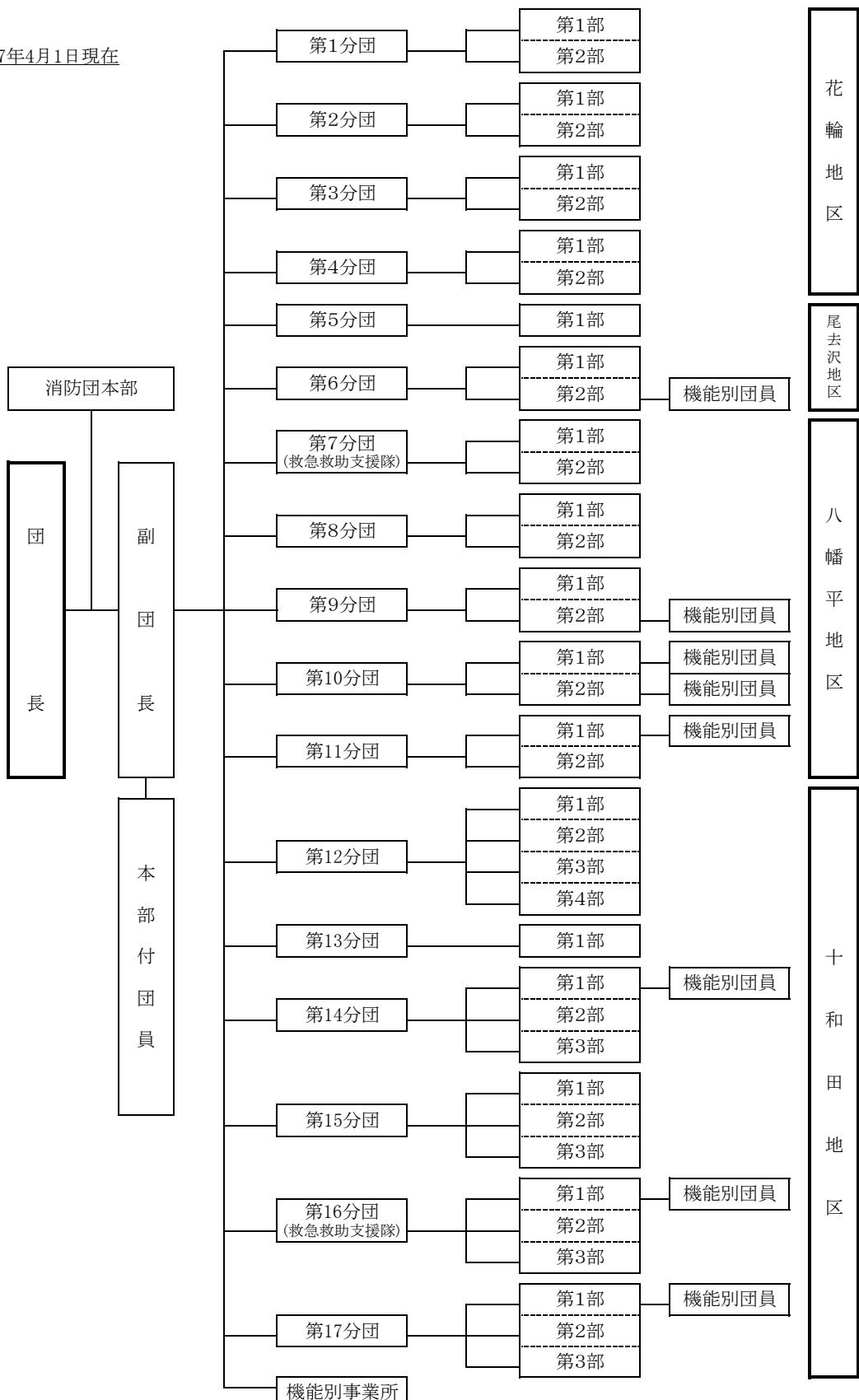
定 数 1 1 5 5 1 1 43 113 170 (人)

< >は軽車両

## 《鹿角市消防団組織図》

### ◎ 組織図

平成27年4月1日現在



**《救急救助支援隊》** 本市は広大な面積を有することから、消防署から遠距離で発生した救急及び救助を必要とする交通・災害事故等に対応するため、消防本部と消防団が連携を持ち、一体となって救急救助活動をすることを目的としています。(八幡平坂比平から岩手県境、大湯中滝から青森県境)

**《機能別団員》** 消防団員の活動を全て行うのではなく、活動を限定して一定の役割を行う団員を言います。

## 《鹿角市消防団管轄区域》

分団名	管轄区域	地区
第1分団	市街地一円 東山 柏木森	花輪
第2分団	鏡田 用野目 狐平 下川原 高屋 花軒田	
第3分団	小深田 乳牛 東町 西町 大曲 高市 鶴田 上台 長野	
第4分団	小平 新斗米 級ノ木 館 寺坂 小枝指 雁府	
第5分団	尾去 西道口 下モ平 蟹沢 新山 城山 上山 水晶山 下夕町	尾去沢
第6分団	山方 中央通り 松子沢 瓜畑 軽井沢 市街地 山神社 新堀市営住宅 上新田 中新田 下新田	
第7分団	谷内 永田 熊沢 水沢 深 坂比平 八幡平温泉郷	八幡平
第8分団	夏井 小割沢 林崎 檻内 長牛 桃枝	
第9分団	小豆沢 碇 湯瀬	
第10分団	大里 葛岡 玉内 松館 石鳥谷 黒沢	
第11分団	三ヶ田 長内 荒町 野尻 白欠 大久保 長嶺 川部 和田	
第12分団	館 古町 下小路(上・中・下) 城ノ下 南 五軒町 横丁 萱町 陣場 上町 中町 下町 川原 高田 土ヶ久保 中野 蟹沢住宅 蟹沢 甚兵エ川原 山田 瀬田石 柏野	十和田
第13分団	高清水 長者久保 上芦名沢 下芦名沢	
第14分団	室田 冠田 曲谷地 沢尻 錦丁 古川 浜田 下野添団地 根市戸 五軒屋 申ヶ野 神田	
第15分団	石野 松山 大欠 土深井	
第16分団	大清水 田代 戸倉 熊取平 大平 中滝 白沢 川上 篠畑 堀内 四ノ岱 四 ノ岱住宅 荒瀬 中岱 上ノ湯 新道 湯ノ岱 中田 上町 中町 丁内 下ノ湯 松原 川 原の湯 中川原 腰廻 関上 大川原	
第17分団	風張 宮野平 一本木 根市 二本柳 保田 中草木 下草木 新田 丸館	

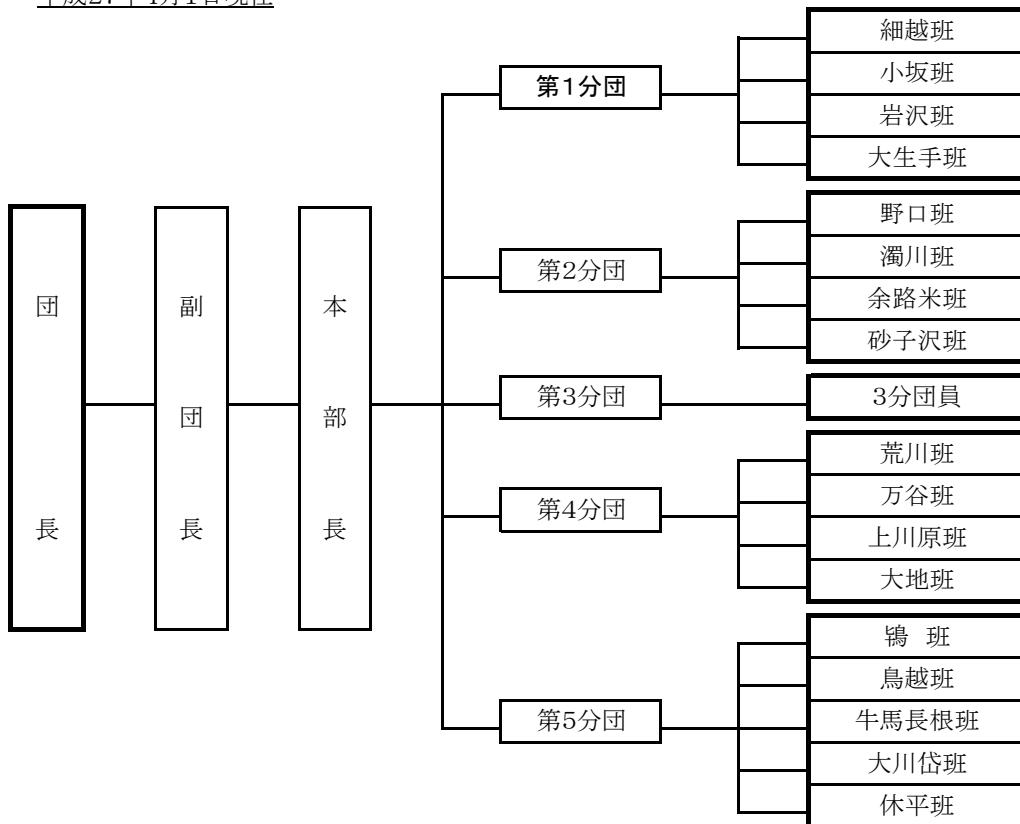
## 《鹿角市消防団員階級別報酬及び諸手当》

平成27年4月1日現在

階級区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年報酬(円)	67,000	53,800	35,900	31,700	21,500	20,400	19,100
定年(歳)		63	60	60	60	60	60
出動手当(円)	1回につき	¥1,900	(水・火災等に出場した者)				
訓練手当(円)	1回につき	¥1,900	(訓練に出場した者)				
警戒手当(円)	1日または1夜につき	¥1,900	(特に警戒を命ぜられた者、または夜警に従事した者)				
技術手当(円)	消防ポンプ自動車1台につき (月額)	¥3,200	(管理保守する者)				
	小型動力ポンプ付積載車1台につき (月額)	¥2,200	(管理保守する者)				
	小型動力ポンプ1台につき (月額)	¥1,600	(管理保守する者)				

## 《小坂町消防団組織図》

平成27年4月1日現在



## 《小坂町消防団管轄区域》

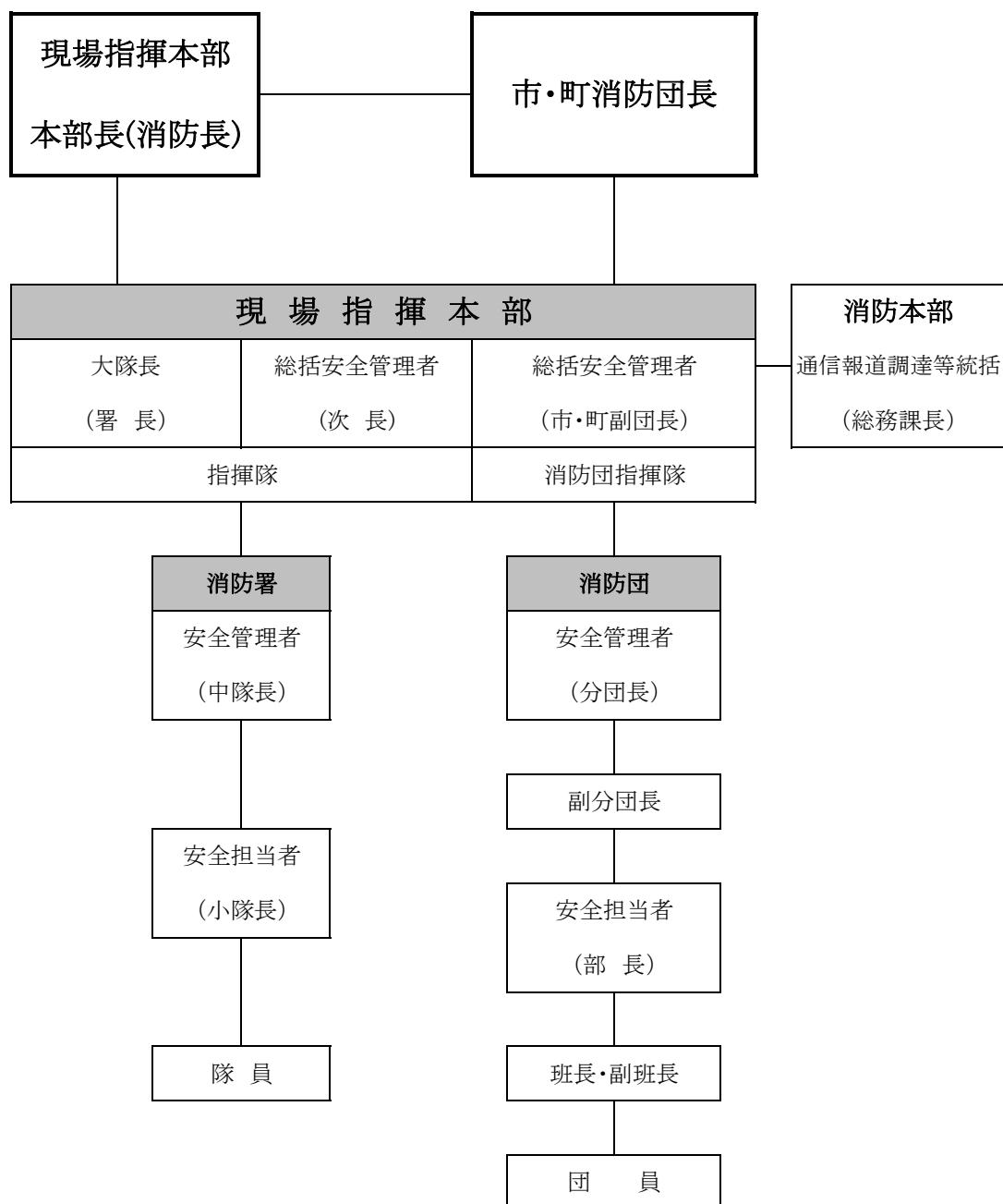
分団名	管 轄 区 域
第1分団	上小坂 中小坂 下小坂 岩沢 大生手 藤倉団地 古苦竹 細前田 細越
第2分団	野口 濁川 余路米 砂子沢
第3分団	町部一円
第4分団	万谷 荒川 上川原 大地 つつじ平 道作団地
第5分団	鳥越 鶴 牛馬長根 狐崎団地 大川岱 休平

## 《小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当》

平成27年4月1日現在

	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	副班長	団員
年報酬(円)	60,000	48,200	32,200	28,500	19,300	17,700	18,300	17,700	17,200
定年(歳)	なし								
出場手当(円)	1回につき	¥1,600	(水・火災等に出場した者)						
訓練手当(円)	1回につき	¥1,600	(訓練に出場した者)						
警戒手当(円)	1日または1夜につき	¥1,600	(特に警戒を命ぜられた者、または夜警に従事した者)						
技術手当(円)	消防ポンプ自動車1台につき	(月額)	¥3,200	(管理保守する者)					

## 消防本部と消防団との安全管理体制



**◎ 秋田県消防操法(訓練)大会成績**

回数	年度	ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部		全国大会出場及び成績
		出場分団	成 績	出場分団	成 績	
1	S37					
2	S38					
3	S39			八幡平村第5分団		
4	S40					
5	S41					
6	S42					
7	S43			八幡平村団	※	第1回 小型ポンプ出場
8	S44			八幡平村団		
9	S45			十和田町団		第2回
10	S47			錦木第4分団	優勝※	第3回 小型ポンプ出場
11	S49	八幡平第1分団		錦木第4分団	優勝※	第4回 小型ポンプ出場
12	S50	八幡平第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
13	S51	八幡平第1分団	優勝	錦木第2分団	2位	第5回
14	S52	毛馬内第1分団	2位	錦木第4分団	優勝	
15	S53	毛馬内第1分団	優勝	八幡平第1分団	2位	第6回
16	S54	錦木第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
17	S55	錦木第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	優勝※	第7回 小型ポンプ出場
18	S56	八幡平第1分団第1部	優勝	八幡平第4分団第2部	2位	
19	S57	八幡平第1分団第1部	優勝※	花輪第4分団第1部	優勝	第8回 ポンプ車出場
20	S58	八幡平第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
21	S59	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	2位	第9回
22	S60	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
23	S61	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第10回
24	S62	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	8位	
25	S63	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第11回 小型ポンプ準優勝
26	H元	錦木第1分団第1部	優勝	八幡平第1分団第2部	優勝	
27	H2	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	3位	第12回
28	H3	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	
29	H4	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	5位	第13回
30	H5	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	2位	
31	H6	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	5位	第14回
32	H7	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	2位	
33	H8	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	5位	第15回
34	H9	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	2位	
35	H10	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	6位	第16回
36	H11	錦木第1分団第1部	6位	尾去沢第1分団第1部	3位	
37	H12	八幡平第1分団第1部	3位	尾去沢第1分団第1部	5位	第17回
38	H13	八幡平第1分団第1部	5位	尾去沢第1分団第1部	4位	
39	H14	八幡平第1分団第1部	7位	尾去沢第1分団第1部	2位	第18回
40	H15	小坂町消防団第4分団	優勝	尾去沢第1分団第1部	7位	
41	H16	小坂町消防団第4分団	優勝	小坂町消防団第4分団	4位	第19回
42	H17	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	5位	
43	H18	小坂町消防団第4分団	2位	小坂町消防団第4分団	10位	第20回
44	H19	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	7位	
45	H20	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	4位	第21回
46	H21	小坂町消防団第4分団	3位	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	
47	H22	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	5位	第22回
48	H23	小坂町消防団第4分団	優勝	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	
49	H24	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	小坂町消防団第4分団	4位	第23回
50	H25	鹿角市消防団第5分団第1部	5位	小坂町消防団第4分団	優勝	
51	H26	鹿角市消防団第5分団第1部	4位	小坂町消防団第4分団	2位	第24回

※ 全国大会出場(隔年開催)

# 災害記録



## 集中豪雨

平成25年8月9日、秋田県北部を中心とする大雨により土砂崩れ、床上、床下浸水が発生した。



## 自然災害

平成9年5月11日、大規模な土砂災害が発生し、温泉宿16棟を飲み込む。



## 火 灾

昭和55年6月12日、鉱山選鉱所火災が発生し、鹿角市消防団は特命出動により全消防団が出動する。

## 災害記録

西暦	年号	種別	記録
1930	昭和5年	建物火災	錦木村土深井で12棟を焼失。
1935	昭和10年	建物火災	4月9日 毛馬内町萱町から出火。住家36棟、非住家10棟全焼。 (川原の大火)
		建物火災	6月17日 小坂町元山元神下から出火。87戸で23棟焼失。り災者490名。
		洪 水	小坂川が氾濫し大洪水となり大被害。8月23日、24日の両日で流失家屋14棟損壊家屋60棟、浸水家屋824棟。他に道路、橋、耕地などが被害。被害額は1,036千円。
		堤防決壊	8月24日 尾去沢鉱山用水取入口堤防が決壊し、流失住家12棟、全半壊住家35棟に被害が出た。また、田圃135町歩、畑2町歩を流失。
1936	昭和11年	ダム決壊	11月20日 3時40分頃、尾去沢鉱山中沢ダムが決壊。中沢・春木沢・瓜畑・笛小屋・新堀・新山・下モ平・蟹沢・西道口の9集落に流出し、死者374名、住家、非住家合わせて310棟を流失。
1938	昭和13年	雪 害	1月26日 小坂町立実科高等女学校が雪のため倒壊、小坂小学校児童の死者8名、重傷10名、軽傷25名、訓導（教員）重傷1名。
1941	昭和16年	林野、建物火災	5月15日 小坂町細越で山火事から延焼。23戸で50棟を焼失。
1947	昭和22年	建物火災	3月18日 花輪町旭町の製材所の火災で延焼防止活動中、倒壊した建物の下敷きとなり死者4名、重軽傷者30名。
		洪 水	8月4日 米代川が大洪水となり大被害。堤防決壊40箇所あまり、住家流失2棟、床上浸水多数、道路決壊、土砂崩れ多数、田畠の流失23町歩あまり、冠水耕地60町歩あまり。（死亡者あり）
1949	昭和24年	航空機墜落	3月18日 花輪西山高瀬館跡地に米軍機が墜落、アメリカ人兵士1名死亡。
		建物火災	3月21日 大湯町立大湯小学校1棟全焼。
		建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉱山社宅で11棟全焼。
		建物火災	10月2日 花輪駅機関区1棟全焼。損害額1,156千円。
		噴 火	八幡平焼山爆発。泥流、火山灰噴出。
		建物火災	11月8日 宮川村小豆沢、大日堂大日靈貴神社全焼。
		建物火災	12月31日 小坂町古館の小坂鉱山病院で火災。本館・東西病棟焼失、焼失面積700坪、損害額30,000千円。
1950	昭和25年	建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉱山社宅で11棟全焼、2棟半焼、り災世帯49世帯、り災者279名、被害額10,000千円。
		建物火災	柴平村東町で大火。住家・非住家23棟全焼。
		噴 火	八幡平焼山で爆発。この噴火による泥土が熊沢川に流入し水田に大被害。
1951	昭和26年	建物火災	曙村荒町、三ヶ田、大久保周辺の田圃100町歩に堆積。
		建物火災	花輪町川原町で6棟全焼。
		建物火災	尾去沢鉱山資材倉庫7棟全焼。
		建物火災	3月 柴平農協事務室から出火。132坪全焼、米倉庫半焼、米2,000俵焼失。
		水 害	7月21日 大湯川堤防決壊、住家7棟流失。21日に降りだした雨で各河川が増水し、崖崩れ、道路決壊が続出する。中でも下ノ湯、川原ノ湯の被害が多く、床上浸水260棟、床下浸水781棟、田畠の流失30町歩、冠水300町歩、柴平以北の橋梁破損流失12箇所。
		水 害	7月21日 荒川川・汁毛川が氾濫。護岸21箇所、道路11箇所、橋12箇所のほか耕地が被害、被害額200,000千円。
		交通事故	9月6日 第三回鹿角郡消防連合訓練大会（小坂町営陸上競技場開催）出場途上、小坂町白岩地区において毛馬内第3分団手引動力ポンプ1台と毛馬内第5分団腕用ポンプ1台を積載した国鉄トラックが転落し、乗車中の消防団員17名が振り落とされ死傷者を出す。
		噴 火	3月 八幡平焼山で一部爆発。
		林野火災	花輪町大久保で天皇陛下記念造林地15町歩焼失。

西暦	年号	種別	記録
1952	昭和27年	建物火災 建物火災	花輪町用野目で住家3棟、非住家2棟、合計5棟を全焼。損害額5,340千円。 5月14日 小坂町尾樽部で火災が発生し、役場・山手社宅に延焼。全焼9世帯、り災者43名、被害額53,730千円。
1953	昭和28年	車両、建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	国鉄陸中花輪駅で客車1両と待合室1棟全焼。損害額2,250千円。 4月9日 七滝村大地で住家12棟全焼。り災12世帯95名、被害額14,550千円。 5月 柴平村小平で住家3棟、非住家4棟全焼。 5月 毛馬内町高田で住家8棟焼失。 5月 大湯銚子発電所住宅5棟全焼。
1954	昭和29年	建物火災 建物火災 建物火災 落雷 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 水害 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 林野火災 林野火災 水害 建物火災	花輪町新町で放火により住家4棟全焼。損害額7,480千円。 花輪町狐平で製材所1棟、住家1棟焼失。 柴平村鶴田の製材所120坪、材木その他資材焼失。損害額5,000千円。 9月12日 曙村杉山で落雷により住家3棟、非住家2棟全焼。 12月19日 尾去沢町下モ平で住家4棟、非住家1棟全焼。 12月 尾去沢町蟹沢でバラック建長屋（5戸）で1棟焼失。 宮川村小豆沢で住家3棟、非住家4棟が全焼。 6月 八幡平村で水害が発生し堤防決壊多数、床上浸水も多数。 7月18日 大湯町川原ノ湯で劇場など6棟全焼。 8月13日 十和田町毛馬内高田で住家3棟、非住家1棟全焼。 8月 十和田町錦木申ヶ野で住家9棟、非住家4棟全焼。り災者71名、損害額10,440千円。 花輪町久保田で8棟全焼。 大湯町で製材工場火災、工場と住家2棟焼失。り災世帯8世帯、損害額5,000千円。
1955	昭和30年	林野火災 林野火災 水害 建物火災	4月 十和田町山根で山林火災発生。民有林103町歩焼失。損害7,000千円。 5月21日 尾去沢町十文字の山林から出火。花輪町花軒田にかけて国有林及び民有林合わせて10町歩焼失。 7月23日 花輪町120mm、八幡平村200mmの豪雨により銭川温泉、玉川・両国両鉱山住宅2棟全壊。夏井橋、長嶺橋、夜明島橋、水沢橋等熊沢川全橋10箇所流失、栃木川原、赤渕等護岸決壊、水田10町歩以上冠水被害。長牛橋、用野目橋、高屋橋が損傷。損害額30,000千円以上。 11月21日 小坂町銀山町で火災。住家23棟、非住家4棟全焼。り災者101名 損害額29,800千円。
1956	昭和31年	林野火災 建物火災 水害 建物火災	十和田町崩森国有林で山林火災発生。焼失面積8ha。 5月3日 小坂町荒川で住家26棟、非住家17棟全焼。り災世帯27世帯、り災者159名、被害額50,000千円。
1958	昭和33年	建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	2月9日 十和田町毛馬内の寺院全焼。 3月24日 八幡平村大里（上村）で住家6棟、非住家7棟全焼。 4月5日 花輪町鶴田で住家2棟、非住家2棟全焼。
1959	昭和34年	建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	11月21日 小坂町銀山町で共同住宅23棟、非住家4棟全焼。り災者101名。 12月12日 放火により花輪町小坂で住家1棟全焼。 十和田町錦木申ヶ野で大火。8棟全焼。
1961	昭和36年	建物火災 建物火災 洪水 建物火災 建物火災 林野火災	3月20日 花輪町新町で住家2棟、工場1棟全焼。負傷者5名、損害額7,749千円。 4月3日 花輪町柴内高市で住家2棟、非住家1棟全焼。死者1名、損害額1,383千円。 4月4日 異常高温による雪解けと暖風に豪雨が重なり河川が増水。花輪町で米代川が増水し用野目橋流失、狐平・下川原護岸決壊。八幡平村赤渕で水田4,040haが冠水。小坂町で若木立橋流失。合計損害額4千数百万円。 5月5日 八幡平村蛇沢で住家3棟、非住家2棟全焼。 5月24日・6月5日 連続放火により花輪町小深田で火災（ボヤ）発生。 5月25日 花輪町雁府で山林火災発生。焼失面積4.5ha。

西暦	年号	種別	記録
1962	昭和37年	建物火災	5月25日 八幡平村湯瀬のホテル食堂炊事場でプロパンガスの配管工事中、ガス漏れによる爆発火災。死者1名、重軽傷者5名。
		建物火災	8月10日 花輪町東山で住家1棟、非住家2棟全焼。損害額1,029千円
		林野火災	5月12日 十和田町大湯中滝で山林火災発生。14日夜まで続き4000ha焼失。
		林野火災	5月14日 花輪町柴内で山林火災発生。国有林5ha焼失。
		建物火災	5月17日 尾去沢鉱山で住家6棟全焼。
1963	昭和38年	建物火災	1月11日 十和田町大湯上町で住家4棟全焼。
		建物火災	2月 花輪町高屋で住家2棟、非住家1棟半焼、鶴2000羽、ヒナ鳥13000羽が焼死。
1965	昭和40年	建物火災	5月 花輪町大曲水無沢町有林50ha焼失。
		林野火災	5月25日 連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼、住家、非住家3棟半焼負傷者1名、損害額3,299千円
		建物火災	6月13日 連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼。住家、非住家4棟半焼損害額1,034千円
		建物火災	7月10日 連続放火により花輪町立花輪第一中学校校舎2棟全焼。焼失面積1,848m <sup>2</sup> 、損害額17,000千円。
		台 風	能代沖を通過した台風23号は、風速20mの強風を伴い稻の倒伏45ha、果樹の落下2万箱、被害額40,000千円。
		建物火災	11月10日 花輪町中町で住家3棟全焼、住家2棟半焼、損害額12,131千円。
		建物火災	5月23日 花輪町谷地田町で住家2棟、非住家1棟全焼、住家・非住家6棟半焼、死者1名、損害額3,389千円。
		水 害	8月12日 小坂町川上地区で河川が増水、住家1棟流失。土木及び農地被害37箇所、損害額113,950千円。
		建物火災	9月6日 花輪町立柴内小学校校舎1棟全焼。焼失面積2,450m <sup>2</sup> 。原因はカマドの煙突の破損、損害額19,453千円。
		建物火災	3月24日 花輪町下夕町の整備工場で火災、死者3名。
1966	昭和41年	建物火災	十和田町浜田で住家1棟、倉庫185.6m <sup>2</sup> 全焼、損害額2,500千円。
		建物火災	5月31日 花輪町花軒田で住家3棟、非住家1棟全焼。損害額5,232千円。
		建物火災	10月 花輪町鶴田で製材工場330m <sup>2</sup> 1棟、住家85m <sup>2</sup> 1棟全焼。
		建物火災	十和田町大湯川原ノ湯でアパート火災。1棟171.6 m <sup>2</sup> (6世帯) 全焼、損害額4,000千円。
		建物火災	尾去沢町尾去で鶏舎と作業小屋396m <sup>2</sup> 全焼。鶏300羽、豚2頭焼死。
1967	昭和42年	建物火災	2月19日 花輪町舟場で住家2棟全焼、住家2棟半焼、損害額8,504千円。この火災で消防活動中の消防職員1名が殉職。
		建物火災	八幡平村黒沢で住家1棟、非住家3棟全焼。損害額4,000千円。
		建物火災	5月16日 9時50分頃、北海道十勝沖を震源地とする地震が発生。秋田県では震度4を記録し、鹿角地区では1日に数十回の余震が1週間程度続いた。
		地 震	この地震により花輪町の大堰水路の水が横流れし、道路へ水が飛散した。また、花輪小学校をはじめ住家の一部が破損し土蔵等の壁が崩れるなどの被害が続出した。
		建物火災	8月3日 尾去沢町下モ平で住家7棟、非住家1棟全焼。損害額29,750千円。
1968	昭和43年	建物火災	4月24日 花輪町大町で3棟全焼。
		建物火災	5月4日 花輪町甘露の山林15ha焼失。
		林野火災	5月7日 尾去沢町で水晶山国有林植樹祭記念造林地2ha焼失。
		林野火災	花輪町横町で3棟全半焼。損害額15,000千円。
		建物火災	8月15日 花輪町新町の火災(ボヤ)現場にオートバイで駆け付ける途中、自家用車と接触し、消防団員1名殉職。
		交通事故	
		建物火災	10月11日 花輪町東山で養畜舎1棟全焼。死者2名、負傷者1名、牛數十頭焼死、損害額7,063千円。
1969	昭和44年		

西暦	年号	種別	記録
1970	昭和45年	建物火災	9月16日 花輪町新町の醤油味噌醸造工場で工場、倉庫併せて3,260m <sup>2</sup> 全焼。 損害額は100,000千円。
1971	昭和46年	建物火災 建物火災 建物火災	11月24日 花輪町谷地田町の下駄製造工場から出火。5棟1,150m <sup>2</sup> 全焼。 5月27日 小坂町尾樽部で住家5棟全焼。り災世帯5世帯、り災者22名、損害額22,460千円
1972	昭和47年	水害	5月29日 十和田町毛馬内下陣場で製材所 (370m <sup>2</sup> ) 1棟、住家2棟、非住家2棟全焼。
1973	昭和48年	建物火災	7月8日から9日にかけ大雨のため、道路決壊21箇所、堤防決壊15箇所、田畠の流失、毛馬内下高田橋流失等の被害が発生する。
1974	昭和49年	雪害 交通事故	1月30日 八幡平松館で住家2棟全焼、住家1棟・非住家2棟半焼。損害額2,583千円 2月3日 前日からの大雪により八幡平地区で住家全壊2棟、半壊8棟、一部破損多数。 11月10日 秋季防火週間の初日、花輪地区消防団車両が不時演習への出動途上、国道282号の信号機のある交差点で大型トラックと衝突した。消防車は右側店舗に突っ込み、大型トラックは左側店舗に突っ込む。消防車に乗っていた消防団員13名は振り落とされて、死者3名、重傷者3名、軽傷者7名が発生した。
1975	昭和50年	労働災害 建物火災	5月 花輪鉱山で落盤事故発生。死者1名。 6月10日 花輪古館で工場2棟、非住家1棟全焼、非住家1棟半焼。損害額4,700千円。
1976	昭和51年	建物火災	2月15日 大湯上ノ湯で旅館1棟 (739m <sup>2</sup> ) 全焼。負傷者3名、損害額8,644千円。(自動火災報知設備の警報ベルが作動したのに無視し、ベルを停止したもの。)
1977	昭和52年	労働災害 建物火災	8月 尾去沢鉱山で落盤事故発生。死傷者2名。 2月6日 旧毛馬内小学校校舎1棟全焼。負傷者(団員)3名、焼失面積2,646m <sup>2</sup> 、損害額6,453千円。
1977	昭和52年	建物火災	4月22日 八幡平谷内で非住家5棟全焼。損害額3,897千円。
1978	昭和53年	建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	6月4日 花輪旭町で工場2棟、住家2棟、非住家2棟全焼。損害額12,496千円。 3月9日 花輪柴内の不動尊神社1棟全焼。 4月23日 八幡平碇で住家2棟全焼、1棟半焼。負傷者(消防職員)1名。損害額2,841千円。 9月22日 鉛山鉱山(株)大湯破碎場1棟全焼、負傷者(団員)1名。焼失面積643m <sup>2</sup> 、損害額8,964千円。原因は硫化鉱の自然発火。
1979	昭和54年	大雨 林野火災	3月31日 鹿角市全域暴雨。土木施設33件、農林施設26件、文化施設11件、建物の破損80棟以上の被害。 5月6日 十和田山根地区で林野火災が発生。焼失面積2,396a。損害額18,574千円
1980	昭和55年	大雨 建物火災	4月6日 鹿角市全域の大雪及び融雪のため堤防決壊25件、道路決壊3件、家屋の一部破損2件、田圃の流失3町歩の被害。 6月12日 尾去沢鉱山(株)で選鉱所の一部焼失。焼失面積1,342m <sup>2</sup> 、損害額442千円
1981	昭和56年	台風	8月23日 台風15号のため家屋全壊15棟、半壊10棟、一部破損100棟以上の被害。
1983	昭和58年	地震 車両火災	5月26日 日本海中部地震で震度4を記録。1日に数回の余震が続き、住家・水田・道路等に被害が出た。被害額200,000千円。 10月9日早朝 花輪東山国有林地内で乗用車が焼失し、車内で親子4名が焼死。この年は計6名の焼死者が発生。

西暦	年号	種別	記録
1984	昭和59年	建物火災	4月20日 花輪葉ノ木谷地で住家全焼。死者1名、損害額15,245千円。
		建物火災	5月10日 毛馬内三の丸で住家全焼。死者1名、損害額2,008千円。
		建物火災	5月14日 花輪諏訪野で住家部分焼。死者1名、損害額260千円。
		建物火災	6月5日 花輪上中島で放火により住家半焼。死者1名、損害額589千円。
1985	昭和60年	建物火災	6月18日 八幡平谷内の寺院826m <sup>2</sup> 全焼、林野7a焼失。損害額64,476千円。
		建物火災	7月17日 八幡平湯瀬で住家全焼。死者2名、損害額2,344千円
1986	昭和61年	水害	8月5日 台風10号による豪雨のため河川が増水、床下浸水住家2棟、非住家1棟、工場及び事務所各1棟の被害。通算雨量103.5mm
1987	昭和62年	建物火災	2月6日 尾去沢下モ平で住家1棟全焼。死者1名、損害額3,794千円。
		交通事故	1月31日 東北自動車道上り線588KP付近で普通乗用車に普通トラックが追突。重軽傷者3名、うち1名は五ノ宮橋から約14m下へ転落。
1988	昭和63年	建物火災	7月31日 花輪合ノ野で縫製工場全焼。損害額29,329千円。
		建物火災	9月22日 毛馬内中台地で住家部分焼。死者1名、損害額297千円。
		建物火災	7月30日 花輪谷地中で牛舎全焼。牛17頭焼死、損害額14,741千円。原因は干し草の自然発火。
		建物火災	1月13日 花輪長野で住家全焼。死者1名、損害額5,020千円。
1989	平成元年	建物火災	12月28日 花輪下夕町で住家1棟全焼、1棟半焼。死者1名、損害額9,380千円。
		台風	9月28日未明、鹿角市内は台風19号の暴風圏内に入り、全域にわたり大きな被害を受ける。重軽傷者13名、住家被害826棟、被害額939,000千円。農産物被害額はリンゴを中心に2,595,000千円など、総被害額4,813,940千円。
1990	平成2年	建物火災	11月20日 尾去沢中沢の寺院513m <sup>2</sup> 全焼。死者1名、損害額68,067千円。
		火災	鹿角市で5月16日から12月16日まで7ヶ月間の無火災を記録。年間火災件数も市発足以来最少の5件となる。
		建物火災	10月26日 小坂町尾樽部で住家3棟全焼。死者1名、り災世帯3世帯、り災者13名、損害額34,228千円。
1991	平成3年	建物火災	12月21日 錦木山谷で住家1棟全焼。死者1名、損害額9,026千円。
1992	平成4年	建物火災	10月27日 花輪荒屋敷で住家2棟全焼。死者1名、損害額13,956千円。
1993	平成5年	建物火災	1月10日 小坂町万谷で住家1棟全焼、死者1名、損害額20,003千円。
1994	平成6年	建物火災	7月6日 八幡平湯瀬の危険物施設で軽油6000Lが米代川へ流出。
1995	平成7年	建物火災	5月11日 八幡平熊沢国有林地内で大規模な土砂災害が発生。澄川、赤川両温泉施設の合計16棟が流失する。人的被害なし。
1996	平成8年	危険物漏洩	5月11日 八幡平熊沢国有林地内で大規模な土砂災害が発生。澄川、赤川両温泉施設の合計16棟が流失する。人的被害なし。
1997	平成9年	自然災害	5月11日 八幡平熊沢国有林地内で大規模な土砂災害が発生。澄川、赤川両温泉施設の合計16棟が流失する。人的被害なし。
1998	平成10年	建物火災	1月18日 毛馬内で建物火災。死者1名。
		建物火災	3月30日 八幡平大里で製材工場2棟半焼。
		建物火災	6月3日 花輪孤平で住家全焼。死者1名
		集団救急	8月3日 田沢湖町玉川温泉で集団食中毒が発生。52名を救急搬送。
2001	平成13年	集団救急	9月10日 後生掛温泉で毒キノコによる食中毒が発生。9名を救急搬送。
		林野火災	4月から5月にかけ、野焼き・枯れ草焼却の不始末による林野火災が10件発生。
2001	平成13年	建物火災	7月19日 草木砂派で牛舎全焼。牛20頭焼死、車両1台全焼。
2002	平成14年	建物火災	1月1日 花輪級ノ木で牛舎全焼。牛18頭焼死。
2004	平成16年	建物火災	5月6日 尾去沢新堀市営住宅部分焼。
		危険物漏洩	1月18日 小坂町尾樽部で工場から苛性ソーダが24m <sup>3</sup> 流出。原因は貯蔵タンクの腐食。
		建物火災	2月3日 花輪下花輪で住家2棟全焼、1棟半焼。
		建物火災	3月4日 尾去沢新堀で住家1棟全焼、車両1台全焼。死者1名
2005	平成17年	建物火災	3月27日 花輪上台で非住家3棟全焼、非住家1棟半焼。
		建物火災	2月7日 錦木冠田で住家全焼。死者2名
		建物火災	9月中に毛馬内押出で連続火災。住家1棟全焼、車両1台全焼。
		危険物漏洩	4月16日 尾去沢蟹沢の危険物施設で重油2,100Lが米代川へ流出。

西暦	年号	種別	記録
2006	平成18年	建物火災	5月13日 毛馬内押出で住家1棟全焼。死者1名。
		建物火災	8月23日 小坂町尾樽部で工場火災。工場部分焼、損害額302,208千円。
		建物火災	10月25日 毛馬内鹿倉崎の環境衛生センターごみ処理場で爆発火災。負傷者無し、損害額21,000千円。
2007	平成19年	建物火災	12月9日 草木二本柳で住家1棟全焼。死者1名。
		集中豪雨	9月16日から17日にかけ、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量が260mmに達し過去最高を観測。鹿角市では避難勧告（377世帯1,175名）、避難指示（519世帯1,228名）。住家被害は住家半壊3棟、一部損壊1棟。床上浸水は住家9棟、非住家1棟。床下浸水は住家72棟、非住家30棟。農業被害は水田の流失・埋没21.6ha、冠水156ha。畑の流失・埋没2.5ha、冠水3.5ha。その他に水道66戸、農地・農業用施設220箇所、道路40箇所、橋りょう2箇所、河川46箇所など合わせて農林水産業施設815,800千円、公共土木施設374,215千円、農産物等被害42,895千円となり、総額1,232,910千円の被害を出す。人的被害なし。
2008	平成20年	林野火災	4月から5月にかけて林野火災が多発。特に4月5日は1日5件を記録する。
		建物火災	5月1日 八幡平谷内の製材工場で火災。製材工場、事務所、倉庫の3棟を全焼。損害額46,519千円。この火災で鹿角市消防団は28年ぶりとなる特命出動を発令。消防団員400名が出動する。
		警 戒	4月5日 北朝鮮の飛翔体発射に係る特別警戒本部を設置。被害無し。
2009 2010	平成21年 平成22年	集中豪雨	7月29日から30日にかけ、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量は157mmに達する。
			鹿角市では、住家被害が床上浸水1棟、床下浸水15棟、農地・農業用施設71箇所、道路37箇所、河川13箇所の被害を出す。人的被害なし。
2011	平成23年	雪 害	1月1日 前日からの大雪で鹿角市十和田地区で倒木2件、溢水4件、小坂町で溢水3件発生する。倒木による交通障害なし。溢水により冠水及び床上・床下浸水したが実害なし。
		建物火災	1月3日 未広上屋布で住家1棟全焼。死者2名、負傷者4名、り災世帯1世帯、り災者7名。
		地 震	3月11日 東日本大震災発生。鹿角市では震度4、小坂町では震度3を記録する。鹿角市は全域が停電となつたが、人的被害、倒壊等の被害はなし。小坂町は小坂製錬及び関連建物以外が停電となつたが、人的被害倒壊等の被害はなし。
		集中豪雨	8月17日 秋田県全域に大雨による被害が発生。降り始めからの総雨量は鹿角市123.5mm、小坂町97.5mm。住家被害は鹿角市で床上浸水1棟、床下浸水2棟、人的被害なし。小坂町で鉄砲水による住家1棟一部破損。り災世帯1世帯、り災者5名、人的被害なし。
			4月4日 強い寒気の影響による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家7棟、非住4棟、倒木7件、信号機1件、電線・電柱2件、消防標識1件。小坂町で住家1棟、倒木1件。人的被害なし。
2012	平成24年	暴 風	4月19日 小坂町大稻坪で工場火災。クーリング棟及び物置小屋全焼。
		建物火災	4月20日 八幡平クマ牧場で熊38頭の内、4頭が檻外へ脱走。飼育員2名が襲われ、2名とも社会死状態で発見される。脱走した熊4頭は、猟友会により射殺される。
		そ の 他	5月10日 小坂町横道の町営住宅1棟全焼、1棟半焼。り災世帯1世帯、り災者3名。
		建物火災	5月19日 小坂町大稻坪の工場より灯油12,000リットル流出。周囲への影響等なし。
		危険物漏洩	8月6日 花輪級ノ木で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者2名。
		建物火災	10月17日 花輪寺坂で住家1棟全焼。
		建物火災	12月26日 尾去沢新山で市営住宅1棟部分焼。り災者3世帯、り災者4名。

西暦	年号	種別	記録
2013	平成25年	暴 風	4月7日 発達中の低気圧による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家2棟、非住12棟、倒木2件、人的被害なし。小坂町で倒木等被害なし。 5月10日 尾去沢上山で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者2名。 6月2日 十和田湖生出地内国道103号上で車両1台全焼。死者1名。 8月7日 八幡平谷内の木材加工工場で火災。木材加工工場1棟を全焼。 8月9日 秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では、10時52分までの1時間に108.5mmを記録、土砂災害や浸水害が多数発生した。 鹿角市で避難勧告（1,150世帯2,707名）住家被害は鹿角市で住家3棟半壊 非住家1棟全壊、床上浸水23棟、床下浸水187棟、人的被害なし。 小坂町で床上浸水1棟、床下浸水2棟、人的被害なし。
		台 風	9月16日 台風18号による大雨により、鹿角市で避難勧告（316世帯860名） 避難指示（2,118世帯5,435名）、住家被害は鹿角市で床上浸水1棟、床下 浸水26棟、人的被害なし。小坂町で被害なし。
		建物火災	11月8日 花輪鶴田の自動車リサイクル工場で火災。自動車リサイクル工 場1棟を半焼。負傷者1名。
		建物火災	12月14日 花輪西町で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者5名。
		建物火災	12月15日 大湯川原ノ湯で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、死者1名。
		その他火災	6月17日 小坂町小坂杉沢地内にて工場火災発生。ベルトコンベアーを焼 損。
		水難事故	7月6日 花輪大川添地内米代川にて7歳男児が川に流され死亡。
		水 害	8月1日 東北地方の上空約6,000メートルに氷点下6度以下の寒気が入り込み、 南から暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、雷を伴 った激しい雨が降った。鹿角市各地で建物被害（住家床上浸水2棟、住家床 下浸水6棟、非住家浸水7棟）、道路橋梁被害（国道2箇所、市道5箇所、橋2 箇所、河川7箇所）、農業被害（水田冠水3箇所）の被害が発生。
		水 害	8月15日 大雨により鹿角市各地で道路冠水3箇所、住家床下浸水1棟、用 水路溢水1箇所の被害が発生。



# 少年消防クラブが消火訓練を披露

7月6日(日)、鹿角市役所駐車場において行われた第66回秋田県消防協会鹿角支部消防訓練大会のアトラクションとして、鹿角市幼少年婦人防火クラブから花輪北小学校3年生児童9名による消火器と軽可搬ポンプを使用した消火訓練を披露しました。

鹿角広域行政組合消防本部管内
出 動 件 数
平成26年1月～平成26年9月末
<u>総出動件数</u>
<u>1121件</u>

---

①火 災	19件
②救 急	971件
③救 助	30件
④自然災害	11件
⑤遭難捜索	7件
⑥そ の 他	83件



火を消すまでは  
まだだよ

秋の火災予防運動  
平成26年11月2日(日)  
11月8日(土)



## 第51回 秋田県消防操法大会

## 小型ポンプ操法の部 準優勝 小坂町消防団第4分団（上川原班）

## ポンプ車操法の部 第4位 鹿角市消防団第5分団（尾去沢）

## 鹿角支部 総合 第2位

9月4日、由利本荘市の秋田県消防学校にて第51回秋田県消防操法大会が開催されました。鹿角支部大会を勝ち抜いた両分団は、7月下旬からほぼ毎日、朝夕と訓練を重ねてきました。なお小型ポンプ操法では昨年度優勝の上川原班が、連霸は惜しくも逃しましたが、準優勝と健闘しました。出場分団員に関係する皆様のご理解ご協力に感謝申しあげます。

## 消防通信 龍吐水

## 秋田県救急隊員セミナー開催



9月27日、鹿角市で10年ぶりに、秋田県救急隊員セミナーが開催されました。

このセミナーは救急活動の症例、体験等の研究を披露し、医療関係者から指導・助言を受け、知識を高めるために行われています。

消防・医療関係者、約250名が参加し、大変盛会に終わりました。

災害情報メール配信しています

鹿角市、小坂町で発生した災害情報を携帯電話やパソコンにeメールで配信しています。登録のしかたは市・町のメールアドレスへ空メールを送信するだけ！返信されたメールに記載されたURLへ接続し、希望する情報をチェックし、登録完了で氏名や連絡先を入力する必要はありません。右のQRコードでもURLを取得できます。詳しくは、鹿角市・小坂町のホームページをご覧ください。

- ・消防団員の方は消防署でも登録できます。  
※消防団員の方が登録する際は、消防署（23-5601）へご連絡ください。

## 情報配信メール登録用 e メールアドレス

鹿角市：e-kazuno@xpressmail.jp 小坂町：e-kosaka@xpressmail.jp

メール登録用QRコード

鹿角市



小板田



# 除雪中の事故防止! 雪下ろしは必ず2人以上で!

- ・安全帯、命綱とヘルメット、滑りにくい靴を着用！
- ・命綱は使う前によく点検！
- ・スノーダンプは小回りのきくものを！

- ・新雪や晴れの日は雪のゆるみに注意！
- ・携帯電話を持って！
- ・家族、隣近所に声をかけてから！

- ・雪詰まりの処理はエンジンを切ってから！

- ・水路への雪捨ての最中滑らないように注意！

- ・はしごは必ず固定！
- ・はしごから屋根への移動時には特に注意！

- ・建物の周りに雪を残して雪下ろし！
- ・低い屋根でも油断しない！

- ・疲労時は作業しない！

1. 気体燃料を使用する器具  
(カセットコンロ、ガス調理器具等)
2. 液体燃料を使用する器具  
(石油ストーブ、発電機等)
3. 固体燃料を使用する器具  
(炭、固体燃料等)
4. 電気燃料を使用する器具  
(電気調理器具、電気暖房器具等)



★対象となる火気器具とは

祭礼、縁日、花火大会、盆踊りなどの自治会で行う催し物、その他の多数の方が集まる催し物で、対象となる火気器具を使用する露店が届出をしなければなりません。家族、親戚等の集まり、事業所の親睦目的の催しは対象外です。

平成25年8月に京都府福知山市で発生した花火大会の事故を受け、全ての人々が安心、安全に楽しめるよう、催しや露店の開設に対する火災予防条例が改正されました。

★露店の開設に必要なこと

露店等を開設する場合は、消防署へ「露店等の開設届出書」の提出が必要となります。また火気器具を使用する場合は4型以上の消火器を1店舗に1本設置が必要です。

## 火災予防条例の改正について

# 救急救命士の処置が2つ追加されました

これまでには病院に着いてから点滴されていましたが、救急救命士ができるようになりました。

これまで、心臓や呼吸が止まる前に点滴・出血して血が少なくなったり、重症のやけど、強いアレルギー反応や、長い時間、身体が挟まると危険が高いので、一刻も早く点滴をしなくてはいけません。

これまでは心臓が止まつて命士ができるようになりました。

これまで、心臓や呼吸が止まる前に点滴・食べ物を食べなければ、体の糖分が低くなり、低くなり過ぎると、呼吸や心臓が止まってしまいます。

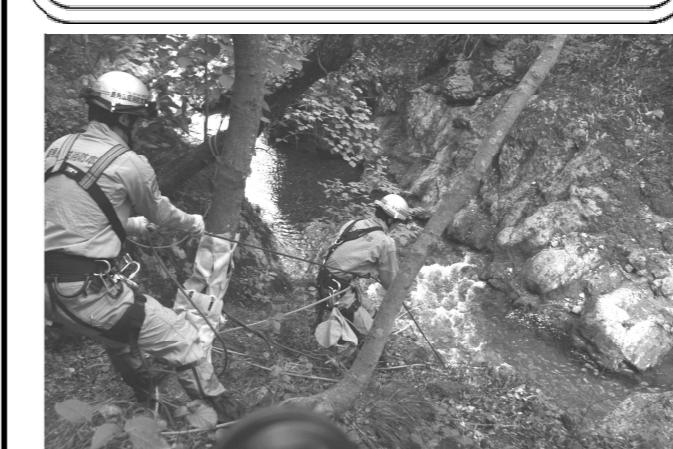
糖が低いため具合が悪くなつたと思われた人には、血の中の糖を測り、低くなっている場合は、ブドウ糖という薬を注射します。急救現場や救急車の中では、ブドウ糖を注射することにより、早期に回復が期待されます。

また、血糖を測ることは、搬送する病院を選ぶことにも有効です。



がれきに挟まれた人など

9月24日、八峰町で鹿角消防と能代山本広域消防本部が主催した、秋田県北部消防本部合同救助訓練が実施されました。



## 住宅用火災警報器Q&A

A Q 住宅用火災警報器はどう買つのでしょうか？  
A Q 寝室と階段には、煙式の住宅用火災警報器が設置義務になります。なお、価格は、メーカーや種類等により異なります。

手入れはどうすればいいの？  
A Q 年に一度ホコリをとるなど、十分絞った布で軽くふき取ってください。

- ・条例により寝室と階段は設置義務です
- ・電池切れに注意！定期的に作動確認をしましょう



---

編集・発行 **鹿角広域行政組合消防本部**

〒018-5201

秋田県鹿角市花輪字高井田64番地2

TEL 0186-23-5601 (代表)

FAX 0186-23-5605 (消防本部)

0186-23-5603 (消防署)

E-MAIL info@fdkazuno.jp

ホームページアドレス <http://www.fdkazuno.jp>

携帯電話用災害情報サイト <http://www.fdkazuno.jp/keitai>

---